

第28回
群馬県域移動性(モビリティ)・安全性向上検討委員会
【安全性】

令和7年9月10日

国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所
群馬県 県土整備部

目 次

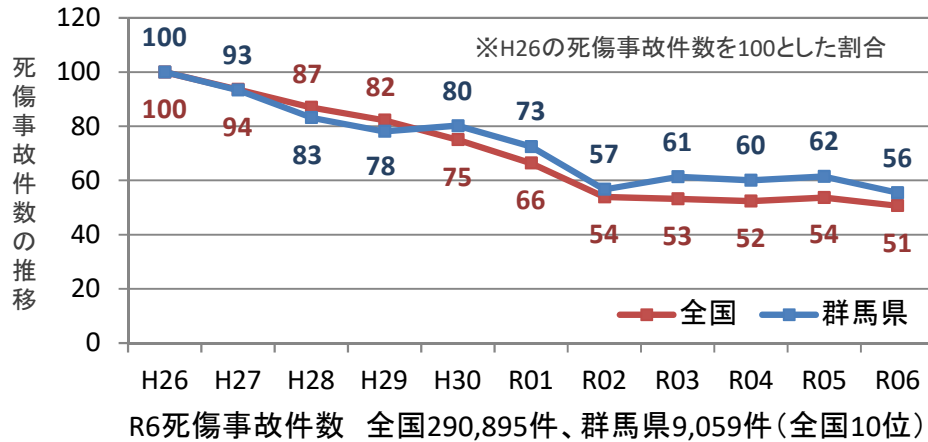
1. 群馬県の事故状況		2
2. 事故ゼロプランの経緯		8
3. 事故ゼロプラン 4巡目の選定について		11
4. 事故ゼロプランの進捗状況		22
5. 事故ゼロプラン(1巡目、2巡目)の対策効果		31
6. 生活道路における交通安全対策		34
7. 交通安全対策に関するトピック		40
8. 次回委員会について		42

1. 群馬県の事故状況

①全国との比較

- 群馬県内で発生している死傷事故件数は、全国と同様に前年と比べ減少傾向にあり、死者数は横ばい。
- 人口10万人あたりの死傷事故件数は、全国ワースト第2位であり、人口あたりの死傷事故が多い。
- 人口10万人あたりの死者数は全国平均より多い。
⇒ 引き続き事故対策が必要。

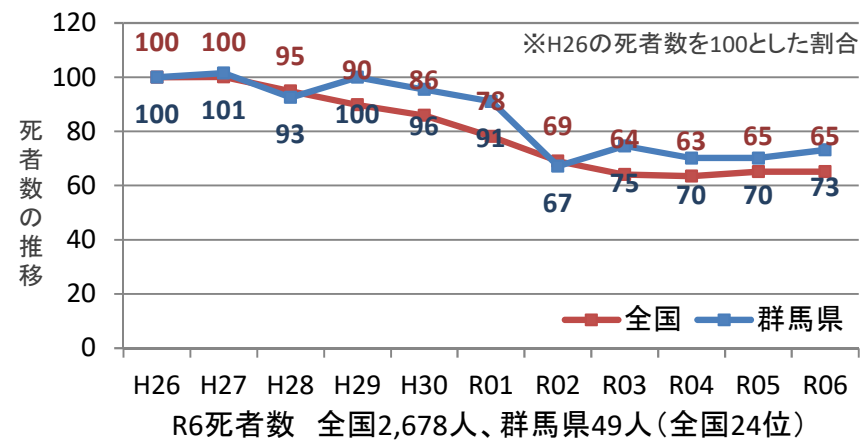
死傷事故件数の推移



※集計期間:各年の1月～12月

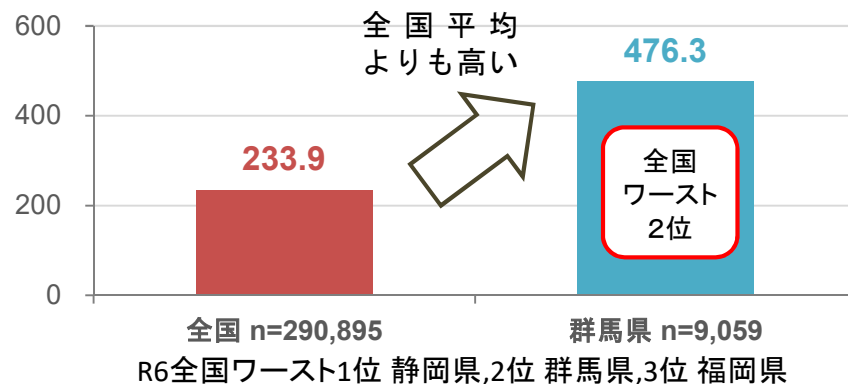
資料:交通死亡事故の発生状況及び道路交通法違反取締り状況等について 都道府県別交通事故発生状況(警察庁)、交通事故統計年報(イタルダ)

死者数の推移



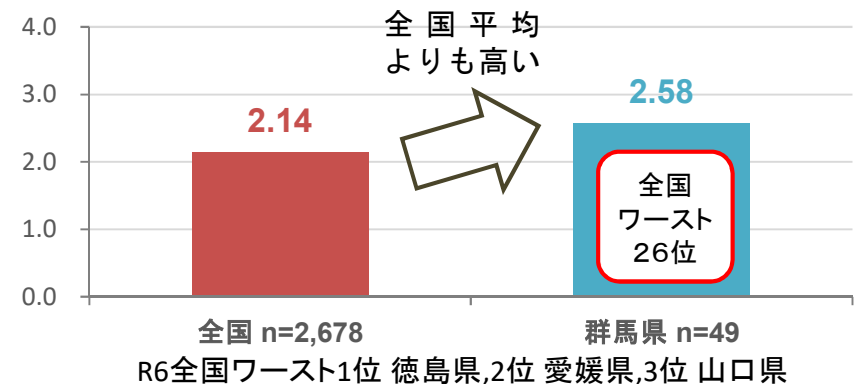
人口10万人当たりの死傷事故件数(R6)

件/10万人



人口10万人当たりの死者数(R6)

人/10万人



資料:令和6年中の交通死亡事故の発生状況及び道路交通法違反取締り状況等について 都道府県別人口10万人当たり交通事故発生状況(警察庁)

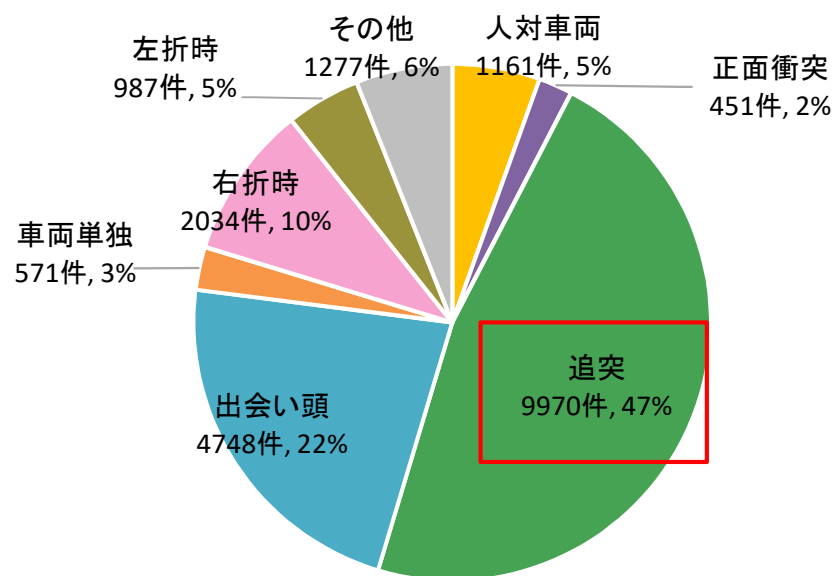
1. 群馬県の事故状況

②事故類型(全死傷事故)の特徴

○幹線道路の事故類型別の死傷事故件数は、「**追突事故**」「**出会い頭事故**」「**右折時事故**」が多い。

○生活道路の事故類型別の死傷事故件数は、「**出会い頭事故**」「**追突事故**」が多い。

幹線道路



事故類型別事故件数と構成比

R2～R5(群馬県:幹線道路)

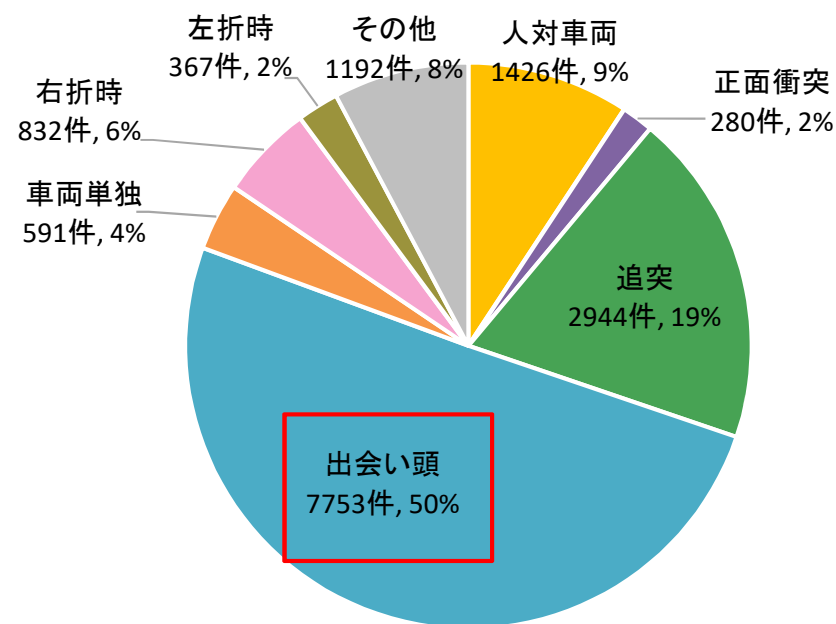
n=21,199

図中表記: 事故類型, 事故件数, 構成比

資料: 交通事故・道路統合データベース(イタルダ)

※ 幹線道路(国道・県道など)の事故類型を集計(対列車事故、不明は除く)

生活道路



事故類型別事故件数と構成比

R2～R5(群馬県:生活道路)

n=15,385

資料: 交通事故・生活道路統合データ(イタルダ)

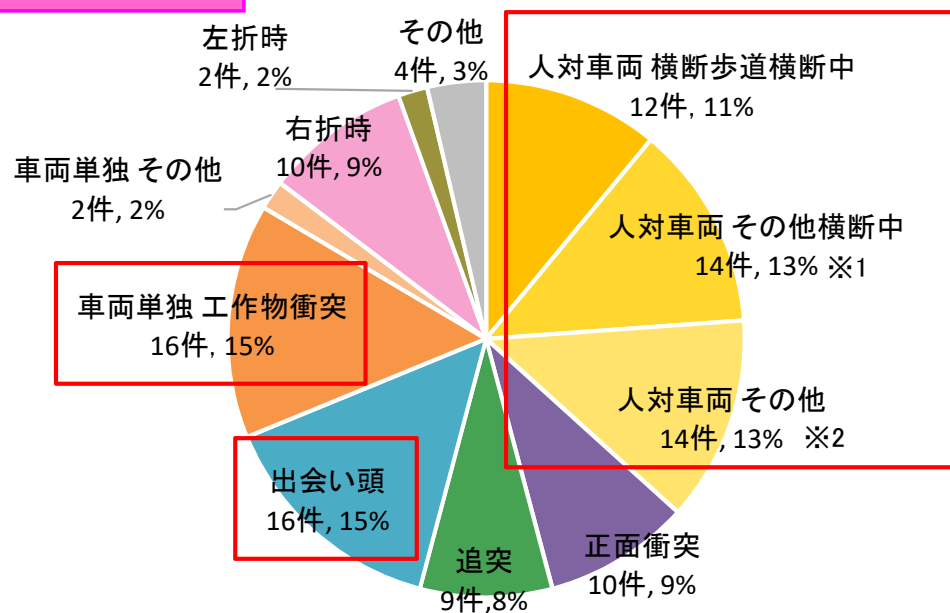
※ 生活道路: 一般市町村道、その他の道路、生活道路の事故類型を集計(対列車事故、不明は除く)

1. 群馬県の事故状況

③死亡事故の特徴

- 幹線道路・生活道路ともに、類型の**約4割を人対車両**が占める。
- そのほかの幹線道路の死亡事故は、**車両単独「工作物衝突事故」**や**「出会い頭事故」**が多い。
- そのほかの生活道路の死亡事故は、**車両単独「工作物衝突事故」**や**「出会い頭事故」**が多い。

幹線道路



死亡事故の事故類型別事故件数と構成比

R2～R5(群馬県:幹線道路)

n=109

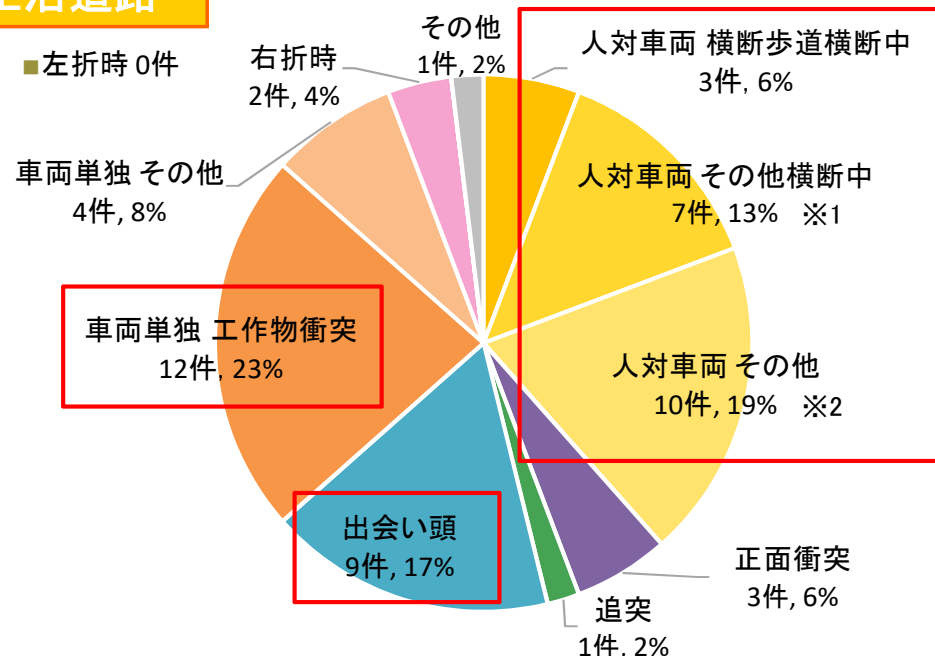
資料:交通事故・道路統合データベース(イタルダ)

※ 幹線道路(国道・県道など)の事故類型について集計(対列車事故、不明は除く)

※1:横断歩道、横断歩道付近、横断歩道橋付近以外の道路の部分を行行者が横断していた時に事故が発生した類型(乱横断と推定される類型)

※2:横断歩道横断中、その他横断中を除く、人対車両事故の類型

生活道路



死亡事故の事故類型別事故件数と構成比

R2～R5(群馬県:生活道路)

n=52

資料:交通事故・生活道路統合データ(イタルダ)

※生活道路:一般市町村道、その他の道路の事故類型について集計(対列車事故、不明は除く)

1. 群馬県の事故状況

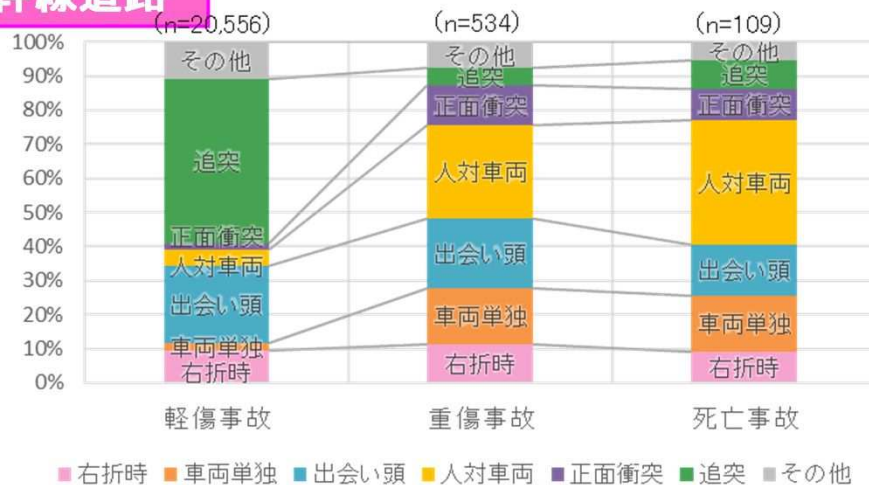
④事故類型別の重傷化リスク(重傷・死亡)

○追突事故は、全体に占める件数の割合は大きいものの、**重傷化リスクは少ない**。

○死傷事故全体に占める割合は小さいものの、**車両単独・正面衝突・人対車両・右折時・出会い頭**では、**重傷事故・死亡事故での比率が大きくなっており、重傷化リスクが高い**ことがわかる。

幹線道路

事故内容別の事故類型(幹線道路)



■事故類型別の重傷化リスク(幹線道路)

	右折時	車両単独	出会い頭	人対車両	正面衝突	追突	その他
軽傷事故	96.51%	81.61%	97.35%	84.07%	83.81%	99.64%	97.92%
重傷事故	3.00%	15.24%	2.32%	12.49%	13.97%	0.27%	1.81%
死亡事故	0.49%	3.15%	0.34%	3.45%	2.22%	0.09%	0.27%

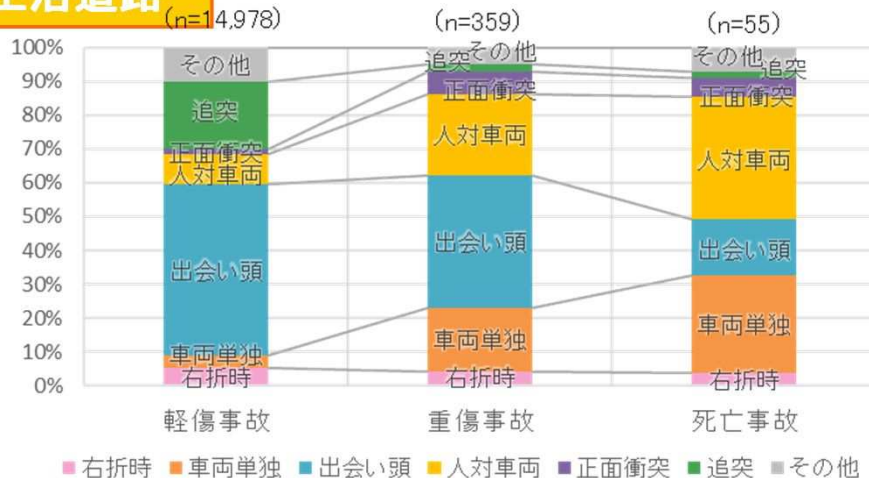
R2~R5(幹線道路)

資料: 交通事故・道路統合データベース(イタルダ)

※ 幹線道路(国道・県道など)の事故件数について集計

生活道路

事故内容別の事故類型(生活道路)



■事故類型別の重傷化リスク(生活道路)

	右折時	車両単独	出会い頭	人対車両	正面衝突	追突	その他
軽傷事故	97.96%	85.79%	98.08%	92.50%	90.71%	99.69%	98.60%
重傷事故	1.80%	11.51%	1.81%	6.10%	8.21%	0.27%	1.15%
死亡事故	0.24%	2.71%	0.12%	1.40%	1.07%	0.03%	0.26%

R2~R5(生活道路)

資料: 交通事故・生活道路統合データ(イタルダ)

※ 生活道路: 一般市町村道、その他の道路の事故件数について集計

1. 群馬県の事故状況

⑤自転車事故の発生状況

○群馬県内の通学时1万人あたりの自転車事故件数は、**中学生、高校生とともに全国ワースト1位が継続。**

○一方で、通学时における自転車事故加害者（第1当事者）の割合として、

群馬県は中学生が25位、高校生が35位となっており、全国的に見て加害比率が低いことが確認できる。

■通学时1万人あたりの自転車事故件数（第2当事者）

ランキング（R6）

※ITARDA 交通事故集計ツールにて集計

※学生人口に基づき1万人あたりの事故件数を集計

【中学生】

順位	都道府県	1万人あたりの事故件数	事故件数 (第2当事者)
1	群馬	31.0	152
2	香川	15.9	40
3	徳島	12.8	22
4	岡山	11.9	60
5	高知	11.7	19

【高校生】

順位	都道府県	1万人あたりの事故件数	事故件数 (第2当事者)
1	群馬	89.4	429
2	静岡	43.3	395
3	愛知	35.2	654
4	徳島	31.5	55
5	香川	31.5	79

■通学时における自転車事故加害者（第1当事者）の

割合ランキング（R6）

※ITARDA 交通事故集計ツールにて集計

※1当2当とも自転車である場合、事故件数はそれぞれにカウント

【中学生】

順位	都道府県	自転車関与 事故件数	うち自転車側が 1当の事故件数	第1当事者割合
1	沖縄	4	3	75%
2	東京	92	56	61%
3	山梨	5	3	60%
4	栃木	83	41	49%
5	兵庫	81	33	41%

25	群馬	167	15	9%
----	----	-----	----	----

【高校生】

順位	都道府県	自転車関与 事故件数	うち自転車側が 1当の事故件数	第1当事者割合
1	東京	492	268	54%
2	栃木	155	62	40%
3	兵庫	385	135	35%
4	愛媛	60	19	32%
5	三重	54	17	31%

35	群馬	457	28	6%
----	----	-----	----	----

1. 群馬県の事故状況

⑤自転車事故の発生状況

○通学時の自転車事故におけるヘルメット着用率は、**中学生95%、高校生49%**と全国的にみても高水準の着用率となっており、マナーアップ啓発の効果がみられる。

○通学時自転車の車両相互の事故類型としては、**出会い頭事故が半数以上を占める**状況である。

■通学時の自転車事故におけるヘルメット着用率（第2当事者）ランキング（R6）

※ITARDA 交通事故集計ツールにて集計

【中学生】

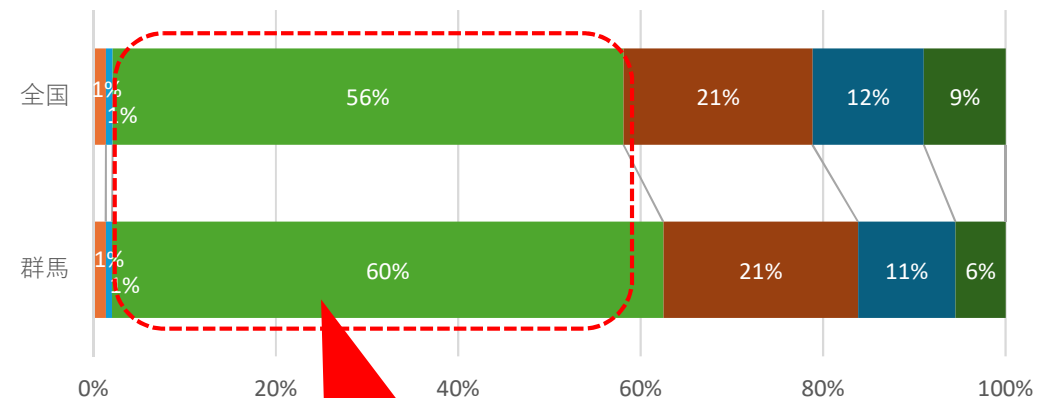
順位	都道府県	事故件数		ヘルメット 着用率
		総数	着用時	
1	福井	10	10	100% *
2	島根	10	10	100% *
3	長崎	3	3	100% *
4	鹿児島	7	7	100% *
5	群馬	152	144	95%
6	山形	17	16	94%
7	愛媛	17	16	94%
8	香川	40	37	93%
9	徳島	22	20	91%
10	佐賀	22	20	91%

* 全事故にて、第2当事者がヘルメットを着用

【高校生】

順位	都道府県	事故件数		ヘルメット 着用率
		総数	着用時	
1	愛媛	41	38	93%
2	大分	49	41	84%
3	山口	23	12	52%
4	群馬	429	210	49%
5	鳥取	17	7	41%
6	山梨	49	20	41%
7	長野	128	27	21%
8	徳島	55	11	20%
9	岐阜	70	13	19%
10	岩手	31	5	16%

■通学時の中高生の自転車事故（第2当事者）における事故類型の割合（車両相互事故を対象）（R6）



出会い頭事故の割合が高い

※ITARDA 交通事故集計ツールにて集計

■ 正面衝突 ■ 左折時
■ 追突 ■ 右折時
■ 出会い頭 ■ 車両相互その他

2. 事故ゼロプランの経緯

①本委員会の経緯

【主な議題】

第1～3回委員会
(平成17年11月、平成18年3月、6月)

- ◆安全性向上区間選定の考え方整理
- ◆安全性向上を図るべき区間決定(交通安全みえる化プラン)

第4～6回委員会
(平成19年10月、12月、平成20年9月)

- ◆新データでの新たな安全性向上区間の選定
- ◆新たに安全性向上を図るべき区間決定(新・交通安全みえる化プラン)
- ◆H20事故危険箇所選定

『群馬県事故ゼロプラン1巡目』(参考)対策期間:平成24年～平成28年(5年)

第7回委員会(平成22年10月)

- ◆「事故危険区間」の選定方針

第8回委員会(平成22年12月)

- ◆「主な事故危険区間」の確定(83区間)

事故ゼロプラン 事故危険区間(1巡目)公表(平成22年12月)83区間*

※第9～12回:「移動性向上」だけの議題で開催

第13回委員会(平成26年9月)

- ◆1巡目の進捗状況、事故危険区間の追加区間

第14回委員会(平成27年10月)

- ◆1巡目のまとめ

*主な事故危険区間

『群馬県事故ゼロプラン2巡目』(参考)対策期間:平成29年～令和3年(5年)

第15回委員会(平成28年8月)

- ◆2巡目のすすめ方

第16回委員会(平成29年1月)

- ◆事故危険区間の抽出

事故ゼロプラン 事故危険区間(2巡目)公表(平成29年3月)194区間

※記者発表による公表

第17回委員会(平成29年7月)

- ◆2巡目の公表、1巡目対策区間の整備効果

第18回委員会(平成30年8月)

- ◆1巡目対策区間の整備効果、2巡目対策区間の短期的な整備効果

第19回委員会(令和元年7月)

- ◆1巡目対策区間の整備効果、2巡目対策区間の短期的な整備効果

『群馬県事故ゼロプラン3巡目』(参考)対策期間:令和3年～令和7年(5年)

第20回委員会(令和2年9月)

- ◆1巡目・2巡目対策区間の整備効果、3巡目のすすめ方

第22回委員会(令和3年8月)

- ◆1巡目・2巡目対策区間の整備効果、3巡目事故危険区間の抽出

事故ゼロプラン 事故危険区間(3巡目)公表(令和3年8月)191区間

第24回委員会(令和4年9月)

- ◆1巡目・2巡目対策区間の整備効果、3巡目の対策方針、事故ゼロプランからの除外方針

第25回委員会(令和5年9月)

第27回委員会(令和6年9月)

- ◆1巡目・2巡目対策区間の整備効果、3巡目の対策方針、事故ゼロプランからの除外判定

※第21回、23回、26回:「移動性向上」だけの議題で開催

『群馬県事故ゼロプラン4巡目』

【報告事項】

- ◆事故ゼロプランの進捗状況

【審議事項】

- ◆4巡目の選定について
- ◆事故ゼロプランからの除外

第28回委員会(令和7年9月)

社会資本整備重点計画 (事故危険箇所の指定と対策)

平成15～19年度

第1次社会資本整備重点計画
(群馬県:174箇所指定 H15.7)

平成20～24年度

第2次社会資本整備重点計画
(群馬県:112箇所指定 H21.3)

平成24～28年度

第3次社会資本整備重点計画
(群馬県:109箇所指定 H25.7)

平成27～令和2年度

第4次社会資本整備重点計画
(群馬県:109箇所指定 H29.1)

令和3～令和7年度

第5次社会資本整備重点計画
(群馬県:92箇所指定 R3.5)

赤字:今回委員会にて新規に報告・審議となる事項
青字:既往委員会から継続して報告・審議している内容

2. 事故ゼロプランの経緯

②群馬県事故ゼロプランの取り組み

群馬県事故ゼロプラン

群馬県事故ゼロプランは、交通人身事故を減少させるため、過去の事故データや道路利用者の声を基に、交通安全対策が必要な区間を『事故危険区間』として選定し、緊急的に対策を行っていく取り組み

事故ゼロプラン（1巡目）（参考）対策期間：平成24年～平成28年（5年）

平成22年12月に主な事故危険区間83区間を公表（直轄：54区間、県管理：29区間）

平成27年度までに80区間の対策を完了（＜事業中＞直轄：2区間、県管理：1区間）

事故ゼロプラン（2巡目）（参考）対策期間：平成29年～令和3年（5年）

平成29年3月に事故危険区間194区間を公表（直轄：93区間、県管理：101区間）

令和6年度までに193区間の対策を完了（＜事業中＞直轄：1区間）

事故ゼロプラン（3巡目）（参考）対策期間：令和3年～令和7年（5年）

令和3年8月に事故危険区間191区間を公表（直轄：84区間、県管理：107区間）

令和6年度までに126区間の対策を完了（＜事業中＞直轄：50区間、県管理：1区間、

＜計画中＞直轄：13区間、県管理：1区間）

2. 事故ゼロプランの経緯

②群馬県事故ゼロプランの取り組み

【R2年度】 事故ゼロプラン(3巡目)事故危険区間の抽出



【R3～R7年度】
事故危険区間の対策検討～対策実施～実施結果の対策効果確認



今回委員会(令和7年9月)の確認・審議事項

【R7年度】 事故ゼロプラン(4巡目)事故危険区間の抽出



【R8～R12年度】
事故危険区間の対策検討～対策実施～実施結果の対策効果確認

3. 事故ゼロプラン 4巡目の選定について

審議事項

①事故ゼロプラン4巡目選定に関する審議事項について

○事故ゼロプラン4巡目選定の枠組みは、既往の3巡目の選定方法を踏襲する。(下記①～③の観点)

※③は第6次社会資本整備重点計画による選定を想定

○本委員会では、“①事故データに基づく抽出”と“②地域の声に基づく抽出”による選定について審議いただく。

【参考】 3巡目の抽出指標

: 事故ゼロプランで選定

①事故データに基づく抽出

- ・事故ゼロプラン2巡目の指標をもとに、『子供事故件数の上位区間』と『横断歩道横断中事故件数の上位区間』を新たに指標に追加
- ・最新のH27～H30事故データを使用
- ・事故データ区間数: 約17,700区間

【抽出指標】 ～ 2項目該当～

- 死傷事故率: 100件/億台km以上
- 死傷事故件数: 上位区間(20件以上/4年)
- 死者数: 1人以上/4年
- 追突事故件数: 上位区間(12件以上/4年)
- 車線逸脱事故件数: 上位区間(2件以上/4年)
- 歩行者・自転車事故件数: 上位区間(12件以上/4年)
- 高齢者事故件数: 上位区間(5件以上/4年)
- 子供事故件数: 上位区間(3件以上/4年)
- 横断歩道横断中事故件数: 上位区間(4件以上/4年)

②地域の声に基づく抽出

- ・群馬県内の職業ドライバーを対象
- ・複数意見のあった危険指摘区間を抽出
- ・道路管理者として、安全対策が必要とされる箇所

【アンケート概要】

※複数回答: 2件以上

- 対象: 群馬県トラック協会・バス協会・タクシー協会
- 内容: 群馬県内の幹線道路の危険箇所を回答
- 危険指摘区間数: 160区間 → 複数回答区間を抽出

③第5次社会資本整備重点計画の事故危険箇所

- ・国施策『第5次社会資本整備重点計画』の『事故危険箇所』を事故ゼロプランに包括

【選定指標 ～A基準: 3項目全該当～】

- 死傷事故率: 100件/億台km以上
- 重大事故率: 10件/億台km以上
- 死亡事故率: 1件/億台km以上

【選定指標 ～B基準～】

- ETC2.0を活用した急挙動箇所
- 事故多発交差点

3. 事故ゼロプラン 4巡目の選定について【事故データに基づく抽出】

②指標【事故データに基づく抽出】に関する変更点

- 3巡目選定指標のうち、“事故データに基づく抽出”について、課題点を整理した。
- 4巡目選定指標においては、これらの課題点の解消を行う。

3巡目抽出指標の課題（事故データに基づく抽出基準）

【課題①】

指標：【歩行者・自転車事故件数】

⇒該当条件が12件以上/4年と水準が高い。事故特性が異なる。

【4巡目での対応】

歩行者事故、自転車事故としてそれぞれ独立した指標を設定する。

【課題②】

指標：【歩行者・自転車事故件数】と【横断歩道横断中事故件数】

⇒同一事故にて抽出条件に2項目該当し選定される可能性がある。

【4巡目での対応】

歩行者事故指標では“横断歩道横断中”指標との重複が生じないよう集計する。

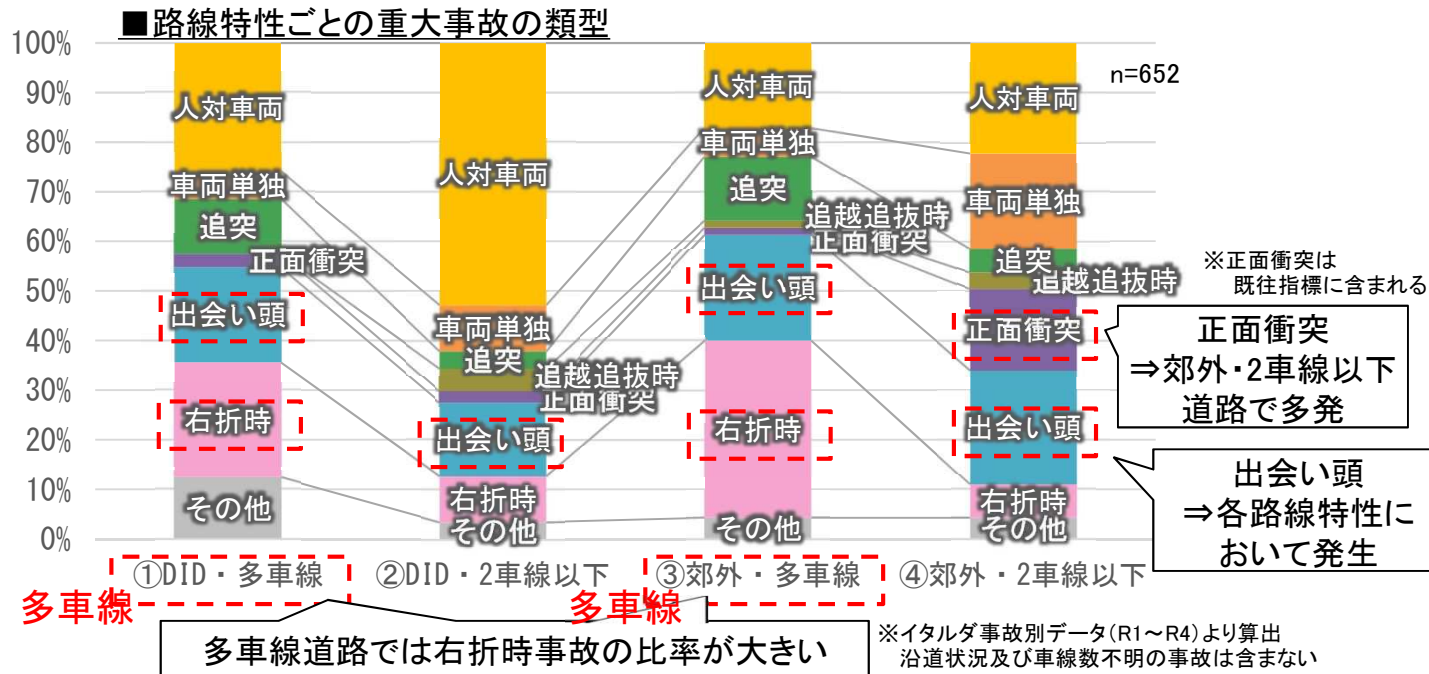
【抽出指標】 ～ 2項目該当～

- 死傷事故率：100件/億台km以上
- 死傷事故件数：上位区間（20件以上/4年）
- 死者数：1人以上/4年
- 追突事故件数：上位区間（12件以上/4年）
- 車線逸脱事故件数：上位区間（2件以上/4年）
- 歩行者・自転車事故件数：上位区間（12件以上/4年）
- 高齢者事故件数：上位区間（5件以上/4年）
- 子供事故件数：上位区間（3件以上/4年）
- 横断歩道横断中事故件数：上位区間（4件以上/4年）

3. 事故ゼロプラン 4巡目の選定について【事故データに基づく抽出】

②指標【事故データに基づく抽出】に関する変更点

- 重大事故(重傷・死亡)に着目し、路線特性(DID・車線数)ごとの事故課題を整理した。
- 3巡目選定指標に含まれていない観点を、4巡目選定指標にて追加。



路線特性(DID、車線数)で区分すると、
下記事故類型が各路線の課題として考えられる

- ・ 右折時事故
- ・ 出会い頭事故

追加

■ 3巡目の抽出指標と4巡目での変更要素

①事故データに基づく抽出(3巡目抽出時の指標)

【抽出指標】～2項目該当～

- 死傷事故率: 100件/億台km以上
- 死傷事故件数: 上位区間(20件以上/4年)
- 死者数: 1人以上/4年
- 追突事故件数: 上位区間(12件以上/4年)
- 車線逸脱事故件数: 上位区間(2件以上/4年)
- 歩行者・自転車事故件数: 上位区間(12件以上/4年)
- 高齢者事故件数: 上位区間(5件以上/4年)
- 子供事故件数: 上位区間(3件以上/4年)
- 横断歩道横断中事故件数: 上位区間(4件以上/4年)

→ 現行指標(3巡目)に含まれない観点を、4巡目で追加

3. 事故ゼロプラン 4巡目の選定について【事故データに基づく抽出】

②指標【事故データに基づく抽出】に関する変更点

○“①事故データに基づく抽出”について、先述の検討を踏まえ、4巡目選定指標では下記変更を行う。

【3巡目】自転車・歩行者事故にて一つの指標 ⇒ **【変更】それぞれ独立した指標に変更**

【3巡目】横断歩道横断中事故(歩行者)が歩行者事故とダブルカウント

⇒ **【変更】歩行者事故指標では横断中事故を除いて集計**

【3巡目】設定なし

⇒ **【変更】右折・出会い頭事故の指標を新規追加**

1巡目(H22選定)	2巡目(H29選定)	3巡目(R3選定)	4巡目(R7選定)
①死傷事故率 100件/億台km以上	①死傷事故率 100件/億台km以上	①死傷事故率 100件/億台km以上	①死傷事故率 100件/億台km以上 ※各管理者で同じ設定
②死傷事故件数 上位100箇所	②死傷事故件数 上位箇所	②死傷事故件数 20件以上/4年	②死傷事故件数 20件以上/4年 ※各管理者で同じ設定
③死者数 1人以上	③死者数 1人以上/4年	③死者数 1人以上/4年	③死者数 1人以上/4年 ※各管理者で同じ設定
④追突事故件数 上位10箇所	④追突事故件数 上位箇所	④追突事故件数 12件以上/4年	④追突事故件数 直轄:9件以上/4年 県:8件以上/4年
⑤歩行者・自転車事故件数 上位10箇所	⑤歩行者・自転車事故件数 上位箇所	⑤歩行者・自転車事故件数 12件以上/4年	⑤歩行者事故 直轄:1件以上/4年 県:2件以上/4年
⑥高齢者事故件数 上位10箇所	⑥高齢者事故件数 上位箇所	⑥高齢者事故件数 5件以上/4年	⑥自転車事故 直轄:5件以上/4年 県:5件以上/4年
⑦車線逸脱事故件数 上位10箇所	⑦車線逸脱事故件数 上位箇所	⑦車線逸脱事故件数 2件以上/4年	⑦高齢者事故件数 1当 直轄:5件以上/4年 県:5件以上/4年 2当 直轄:3件以上/4年 県:4件以上/4年
⑧H20指定事故危険箇所		⑧子供事故件数 3件以上/4年	⑧車線逸脱事故件数 直轄:2件以上/4年 県:3件以上/4年
⑨地元要望等		⑨横断歩道横断中事故件数 4件以上/4年	⑨子供事故件数 直轄:2件以上/4年 県:3件以上/4年
			⑩横断歩道横断中事故件数 直轄:3件以上/4年 県:4件以上/4年
			⑪右折事故 直轄:7件以上/4年 県:6件以上/4年
			⑫出会い頭事故 直轄:4件以上/4年 県:7件以上/4年

変更
変更

変更
追加
追加

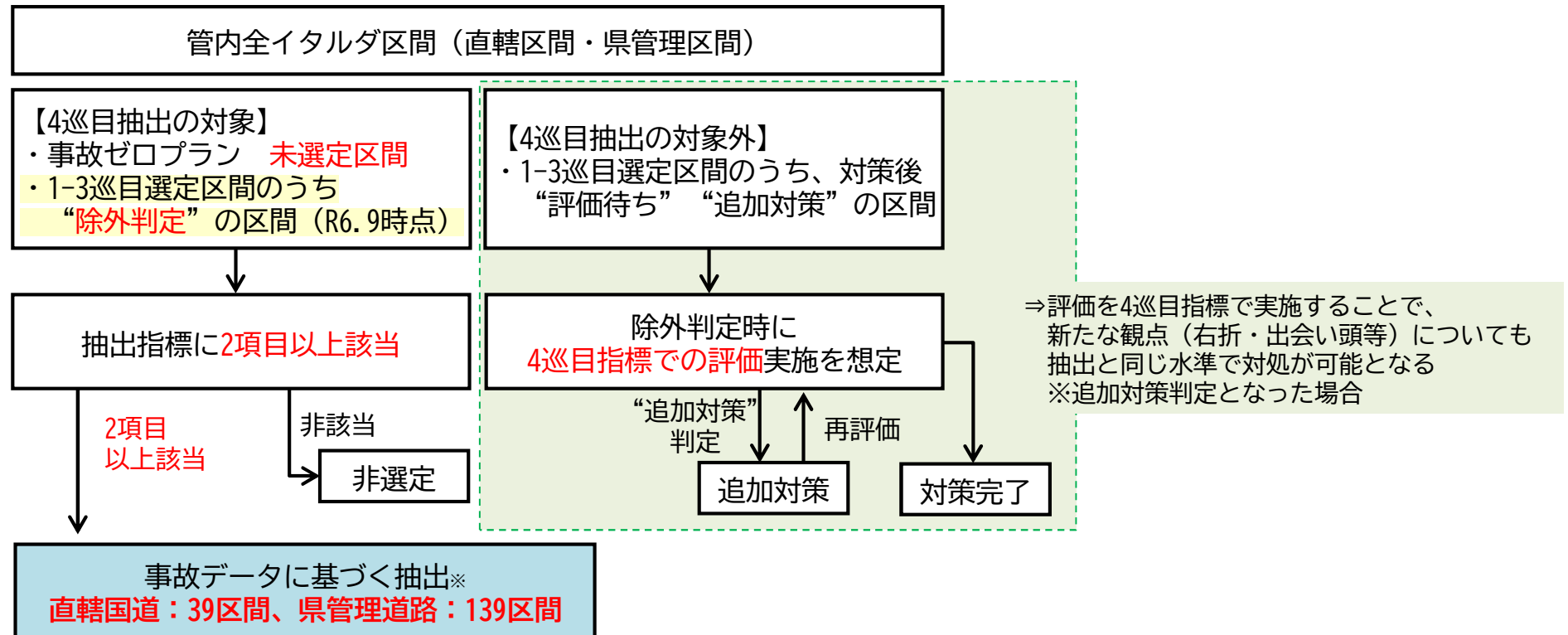
※各指標2項目以上該当で
事故ゼロプランとして抽出(1～4巡目で同様の仕様とする)

※指標該当と判断する閾値は、
各管理者の管轄区間における、上位1%～5%程度の該当区間数となる値を目途に設定。

3. 事故ゼロプラン 4巡目の選定について【事故データに基づく抽出】

③指標【事故データに基づく抽出】による抽出結果

- “事故データに基づく抽出”では、既往事故ゼロプランにて未選定の区間、及び1～3巡目選定区間のうち、除外判定を受けた区間を対象に選定を実施する。
- 先述の抽出指標に2項目以上該当した場合に抽出となる。
- その結果、**直轄国道：39区間、県管理道路：139区間**を抽出した。



※事故の発生状況や既往対策実施状況を踏まえ、最終的な抽出区間とするか判断を行う

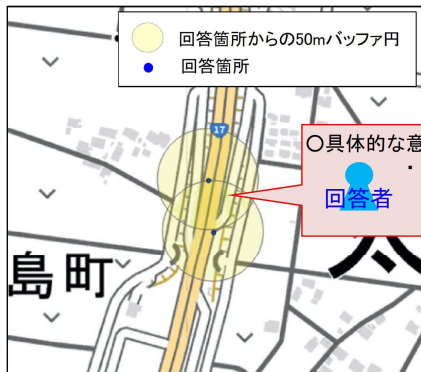
3. 事故ゼロプラン 4巡目の選定について【地域の声に基づく抽出】

④指標【地域の声に基づく抽出】による抽出結果

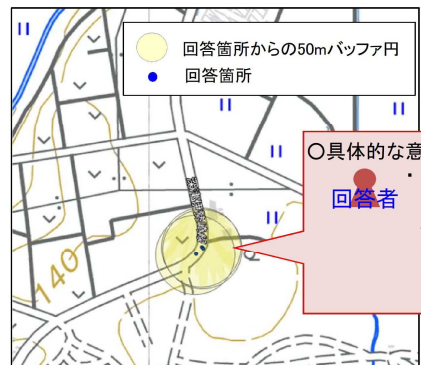
- “地域の声に基づく抽出”では、アンケートにより危険と感じている区間・交差点について、その理由等を調査する。
- 群馬県内の道路事情に精通している「トラック協会」、「バス協会」、「タクシー協会」を対象に、「危険と思われる幹線道路の区間」についてアンケート調査を実施。各団体から262件の回答を得た。
- 地域の声に基づく抽出として**直轄国道:2区間、県管理道路:5区間**を抽出した。

■アンケート回答（一部回答抜粋）

▼直轄国道



▼県管理道路



地図:国土地理院地図を編集して使用

アンケート結果(回答数:262件)

複数回答※の重複が確認できた区間
直轄国道:13区間
県管理道路:13区間
市町村道等:3区間⇒対象外とする

※複数回答:2件以上

既往事故ゼロプラン選定区間との
重複を除外※

直轄国道:2区間
県管理道路:5区間

※除外判定を受けた区間は
重複を考慮せず再選定とする
※近年対策実施の箇所は除外

複数回答とならなかった区間
184区間

対策の優先度は低い区間
(事故危険区間に選定しない)

地域の声に基づく抽出
「直轄国道:2区間、県管理道路:5区間」

3. 事故ゼロプラン 4巡目の選定について

⑤4巡目抽出結果まとめ

①事故データに基づく抽出

事故データによる事故危険区間 **178区間** (直轄国道:39区間、県管理道路:139区間)

②地域の声に基づく抽出

アンケート指摘等による事故危険区間 **7区間** (直轄国道:2区間、県管理道路:5区間)

③第6次社会資本整備重点計画の事故危険箇所 (今後追加想定)

事故ゼロプラン4巡目の事故危険区間 **185区間** (直轄国道:41区間、県管理道路:144区間)

【参考】これまでの事故ゼロプランの各指標の抽出数

指標	管理者	1巡目	2巡目	3巡目	4巡目
①事故データに基づく抽出	直轄国道	47	89	32	39
	県管理道路	23	78	36	139
②地域の声に基づく抽出 ※1 (①との重複を除く)	直轄国道	7	0	26	2
	県管理道路	6	11	5	5
③社会資本整備重点計画の 事故危険箇所 (①・②との重複を除く)	直轄国道	0	4	26	未選定
	県管理道路	0	12	66	未選定
直轄合計		54	93	84	41
県管理合計		29	101	107	144

※1 1巡目の指標②は
”安全性の危惧”指標による選定数を記載

3. 事故ゼロプラン 4巡目の選定について

事故ゼロプラン4巡目区間一覧表【41区間】

①事故データに基づく抽出：39区間
②地域の声に基づく抽出：2区間

直轄管理

番号	R6イタルダ 区間番号	路線番号	箇所名（暫定）	選定区分	
				①事故データ	②地域の声
1	10-K005691-000	50		●	
2	10-K000333-000	18		●	
3	10-K002393-000	17	京目町交差点	●	
4	10-K005244-000	17		●	
5	10-K061429-200	17		●	
6	10-K005554-000	17	東本町十字路交差点	●	
7	10-K005727-000	17	公田町東交差点	●	
8	10-K005647-000	50		●	
9	10-K002258-000	17		●	
10	10-K002346-000	17		●	
11	10-T000094-200	17		●	
12	10-T065453-200	17	相生町一丁目交差点	●	
13	10-K060640-000	17		●	
14	10-T065570-200	17		●	
15	10-K005612-000	17	大差貫南交差点	●	
16	10-K050001-000	17		●	
17	10-K005551-100	17	総合病院前交差点	●	
18	10-K003738-000	17	しのめ跨線橋北交差点	●	
19	10-K005735-000	17	池南交差点	●	
20	10-T060546-000	17		●	
21	10-K004374-000	17	住吉町交差点	●	
22	10-K002915-000	17		●	

番号	R6イタルダ 区間番号	路線番号	箇所名（暫定）	選定区分	
				①事故データ	②地域の声
23	10-K060552-000	17		●	
24	10-K060793-000	17	高林北町交差点	●	
25	10-K060795-000	17		●	
26	10-T000069-100	18	篠塚西交差点	●	
27	10-T066360-000	18	篠塚東交差点	●	
28	10-K050049-000	18		●	
29	10-K003705-000	50		●	
30	10-K006116-000	50		●	
31	10-K005535-000	50	西矢島交差点	●	
32	10-K061053-200	50	坂東大橋北交差点	●	
33	10-K005658-000	50		●	
34	10-K003797-000	50		●	
35	10-K003815-000	50		●	
36	10-K005696-000	50		●	
37	10-K005704-000	50	連取本町交差点	●	
38	10-K005404-000	50		●	
39	10-K005683-000	50	諏訪橋西詰交差点	●	
40	10-T060561-000	17			●
41	10-K050012-200	17			●

3. 事故ゼロプラン 4巡目の選定について

事故ゼロプラン4巡目区間一覧表【144区間】

①事故データに基づく抽出: 139区間
②地域の声に基づく抽出: 5区間

群馬県管理

番号	R6-イタルダ 区間番号	路線番号	箇所名(暫定)	測定区分	
				①事故データ	②地域の声
1	10-T060847-000	151		●	
2	10-T007332-000	462		●	
3	10-K005565-000	13	京目町交差点	●	
4	10-T004533-000	28		●	
5	10-T002539-000	139		●	
6	10-K003217-000	407	東本町十字路交差点	●	
7	10-K005510-000	13	公田町東交差点	●	
8	10-T005077-000	407		●	
9	10-T090527-000	120		●	
10	10-K004685-000	120		●	
11	10-T003140-000	122		●	
12	10-K004044-000	122	相生町一丁目交差点	●	
13	10-K003241-000	122		●	
14	10-K060623-000	122		●	
15	10-K060614-000	122	大差貫南交差点	●	
16	10-T004040-000	145		●	
17	10-K005086-000	254	総合病院前交差点	●	
18	10-K005104-000	254	しなのめ路線橋北交差点	●	
19	10-K060481-000	254	池南交差点	●	
20	10-T067617-000	292		●	
21	10-T007155-000	353		●	
22	10-T062487-000	353		●	
23	10-K002333-000	354	住吉町交差点	●	
24	10-K005321-000	354		●	
25	10-K050151-000	354	伊勢崎高校西交差点	●	
26	10-T065337-200	354		●	
27	10-K005380-000	354		●	
28	10-K050104-000	354	高林北町交差点	●	
29	10-K060704-000	354		●	
30	10-K060688-000	354	篠塚西交差点	●	
31	10-K060612-000	354	篠塚東交差点	●	
32	10-K070444-000	354		●	
33	10-T064200-000	354		●	
34	10-T004182-000	407		●	
35	10-K003198-000	407	西矢島交差点	●	
36	10-K005307-000	462	坂東大橋北交差点	●	
37	10-K005330-000	462		●	
38	10-K002516-000	462		●	
39	10-T001244-000	2		●	
40	10-T007227-000	2		●	
41	10-K002635-000	2		●	
42	10-K002657-000	2	連取本町交差点	●	
43	10-T064147-000	2		●	
44	10-K003563-000	3	諏訪橋西詰交差点	●	
45	10-T061284-000	3		●	
46	10-T004101-000	3		●	
47	10-T090898-000	3		●	
48	10-K003659-000	4		●	
49	10-T060855-000	4		●	
50	10-K003684-000	6	青梨子町南交差点	●	

番号	R6-イタルダ 区間番号	路線番号	箇所名(暫定)	測定区分	
				①事故データ	②地域の声
51	10-K003709-000	10	大友町交差点	●	
52	10-K003677-000	10	棟高東交差点	●	
53	10-K000706-000	10	沖町東交差点	●	
54	10-K070544-000	10		●	
55	10-K005542-000	11		●	
56	10-T007036-000	12		●	
57	10-T004354-000	12		●	
58	10-K003483-000	12	飯玉町交差点	●	
59	10-T001305-000	12		●	
60	10-T001306-000	12		●	
61	10-K005272-000	13	上滝町交差点	●	
62	10-K060646-000	13		●	
63	10-K005127-000	13	上大塚北交差点	●	
64	10-K003500-000	13	大利根町交差点	●	
65	10-T004072-000	14		●	
66	10-K005586-000	15		●	
67	10-T067650-000	15		●	
68	10-T061776-000	18		●	
69	10-K002467-000	18	堀口町交差点	●	
70	10-T064153-000	24		●	
71	10-T064157-000	24		●	
72	10-T064023-000	25		●	
73	10-T064913-200	25		●	
74	10-T064912-200	25		●	
75	10-K060733-000	25		●	
76	10-K003745-000	25	引間西交差点	●	
77	10-K050175-000	25	小倉中央交差点	●	
78	10-K060804-000	25	行幸田団地東交差点	●	
79	10-K003621-000	25	上宿交差点	●	
80	10-T061245-000	25		●	
81	10-T091479-000	25		●	
82	10-K003578-000	25	足門交差点	●	
83	10-T060838-000	26		●	
84	10-K005249-200	27		●	
85	10-K005251-000	27	上大類東交差点	●	
86	10-K050176-000	27		●	
87	10-K005507-000	27	公田町交差点	●	
88	10-T003300-000	28		●	
89	10-K000978-000	28		●	
90	10-K070382-000	29		●	
91	10-K005304-000	30	寺尾町交差点	●	
92	10-T068001-000	33		●	
93	10-T006134-000	33		●	
94	10-T002548-000	34		●	
95	10-T091821-000	35		●	
96	10-T091019-000	40		●	
97	10-T063948-000	40		●	
98	10-T007797-000	40		●	
99	10-T064422-000	49		●	
100	10-T064423-000	49		●	

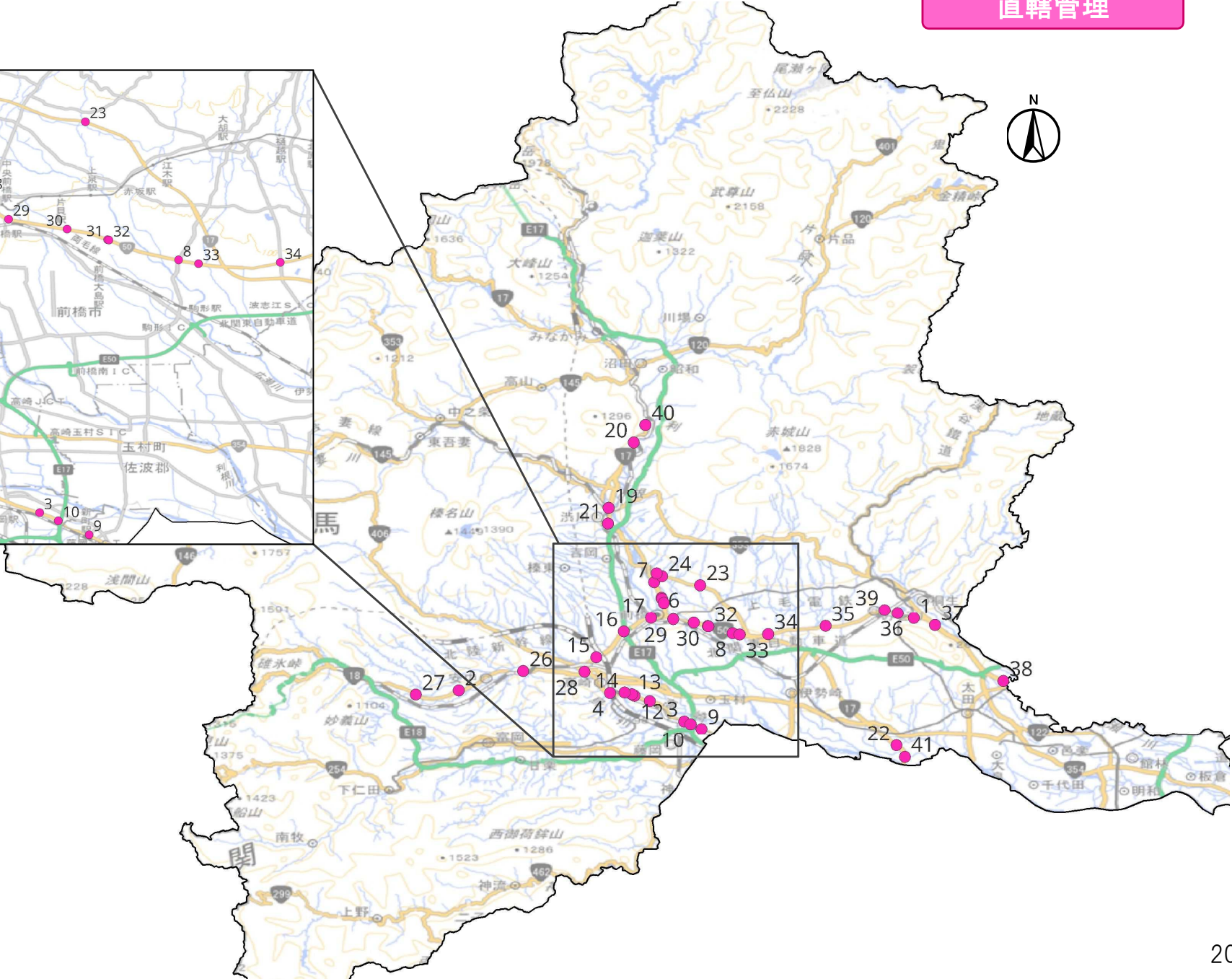
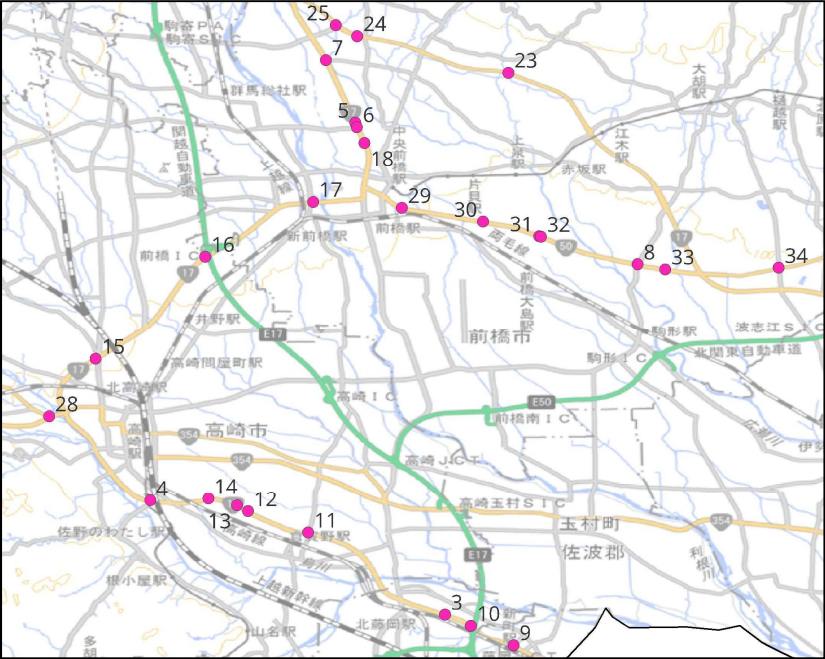
番号	R6-イタルダ 区間番号	路線番号	箇所名(暫定)	測定区分	
				①事故データ	②地域の声
101	10-T008122-000	57		●	
102	10-K050211-000	66	本町四丁目交差点	●	
103	10-K004026-000	67	境野町一丁目交差点	●	
104	10-K003900-000	68		●	
105	10-K002576-000	68		●	
106	10-T006527-000	68		●	
107	10-K004162-000	69	大原下交差点	●	
108	10-T060500-000	70		●	
109	10-K060011-000	71		●	
110	10-T090770-000	71		●	
111	10-T064212-000	71		●	
112	10-K002290-000	71		●	
113	10-T064156-000	74		●	
114	10-T061710-000	74		●	
115	10-K004283-000	76	青柳町交差点	●	
116	10-K005382-000	78	太田警察署北交差点	●	
117	10-T003544-000	101		●	
118	10-T063999-000	105		●	
119	10-T061841-000	121		●	
120	10-T061895-000	129		●	
121	10-K000559-000	132		●	
122	10-T061324-000	135		●	
123	10-K003492-000	135		●	
124	10-K002283-000	136		●	
125	10-K002459-000	142	除ヶ大正寺交差点	●	
126	10-T004541-000	151		●	
127	10-K003666-000	151		●	
128	10-T004662-000	151		●	
129	10-T008211-000	161		●	
130	10-K002348-000	178		●	
131	10-T068114-000	196		●	
132	10-T006123-000	216		●	
133	10-T003501-000	220		●	
134	10-K050266-000	223		●	
135	10-T006106-000	292		●	
136	10-K003842-000	293		●	
137	10-K003962-000	294	大原中西交差点	●	
138	10-K002717-000	301	岩瀬川交差点	●	
139	10-K060108-000	375		●	
140	10-K003479-000	12			●
141	10-T003610-000	103			●
142	10-K004290-000	151			●
143	10-T065318-200※1	354			●
144	10-K002072-000	354	緑町交差点		●

※1:代表イタルダ区間番号

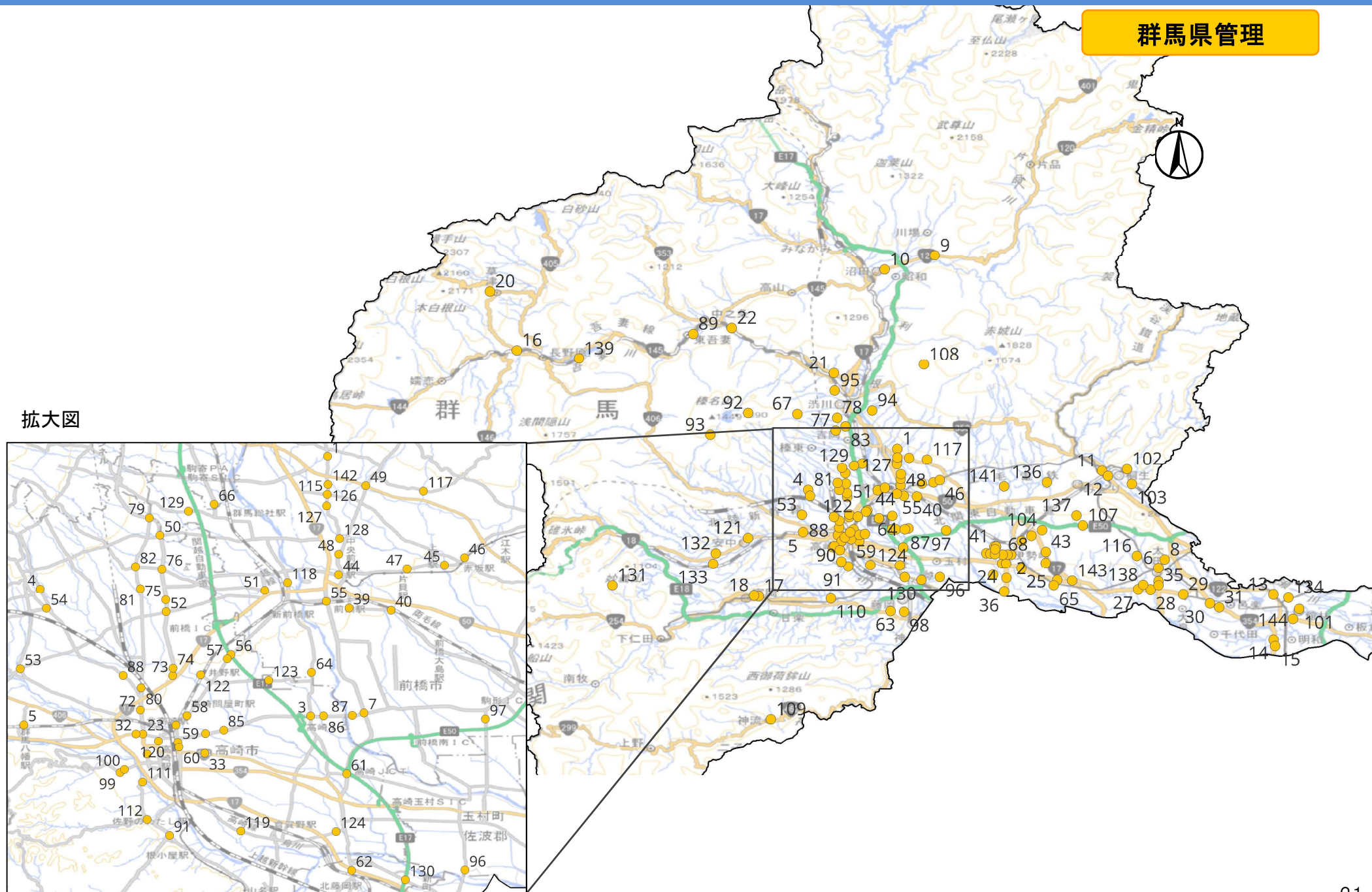
3. 事故ゼロプラン 4巡目の選定について

直轄管理

拡大図



3. 事故ゼロプラン 4巡目の選定について



4. 事故ゼロプランの進捗状況

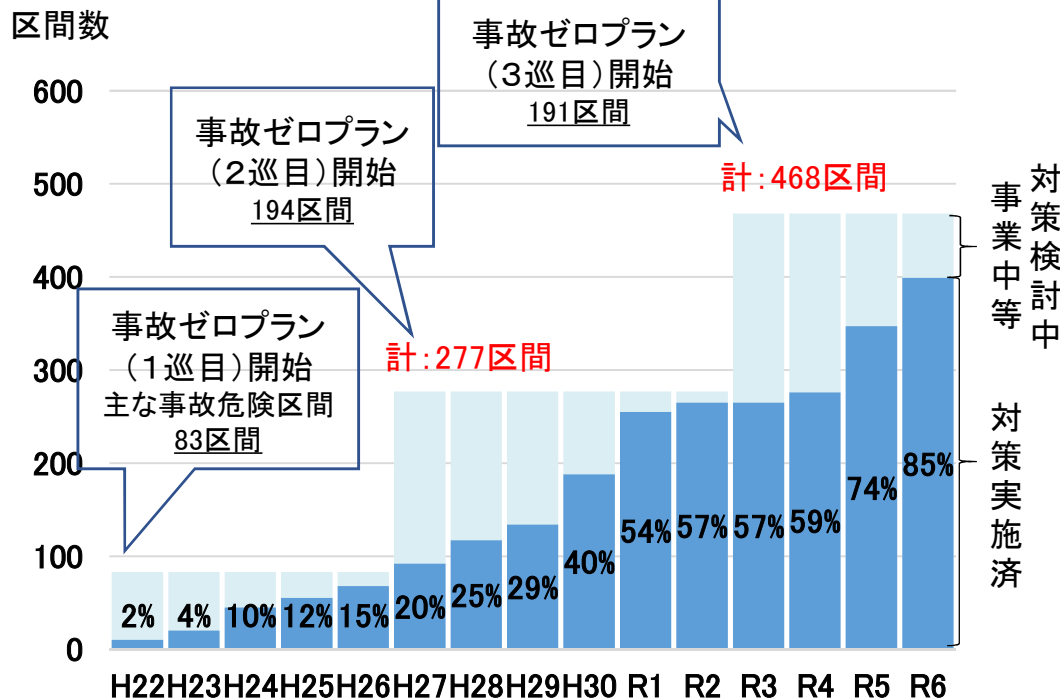
①事故ゼロプランのPDCAサイクルについて

○事故ゼロプランは、PDCAサイクル(計画～対策実施～効果評価～改善)に基づいて推進。

○R6年度末までの**事故ゼロプラン対策実施状況**は、**1巡目区間**(主な事故危険区間:83区間)で**80区間**が**対策実施済**、**2巡目区間**(194区間)で**193区間**が**対策実施済**、**3巡目区間**(191区間)で**126区間**が**対策実施済**。

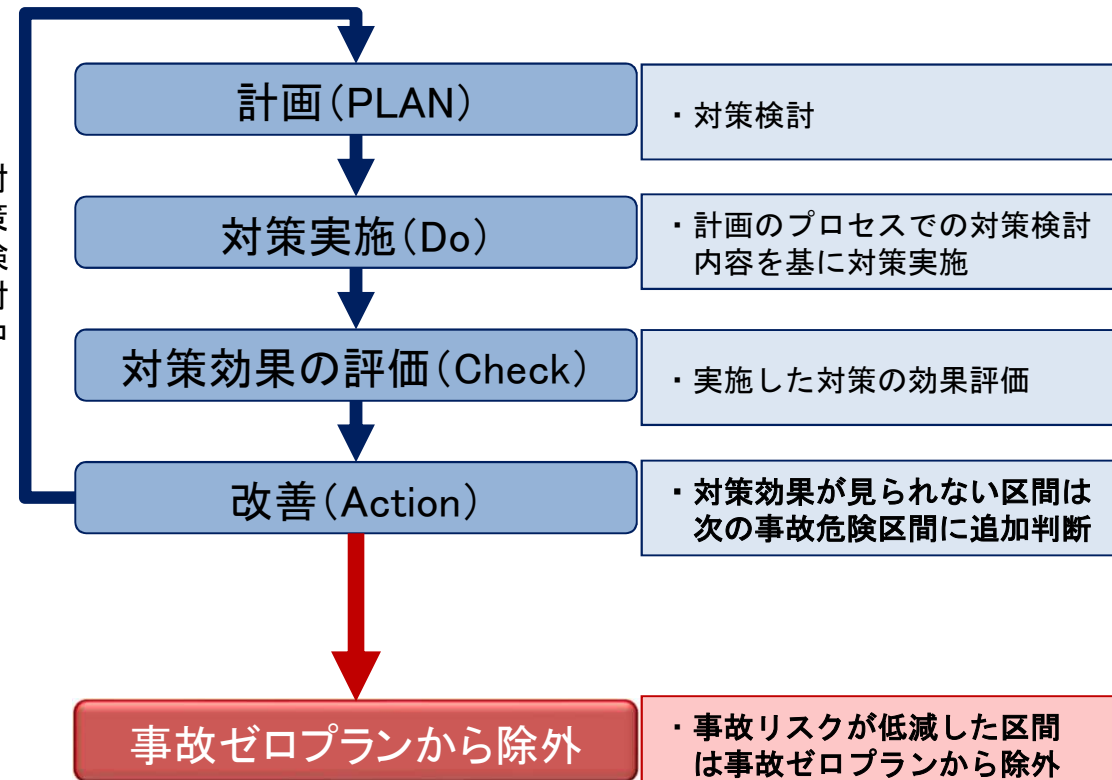
○PDCAサイクルを効率的に推進するため、R5年度より**対策効果が発現し事故リスクが低減した区間は事故ゼロプランから除外**するルールを導入。

事故ゼロプランの対策実施状況



※赤字の合計値は累計(重複含む)

PDCAサイクル

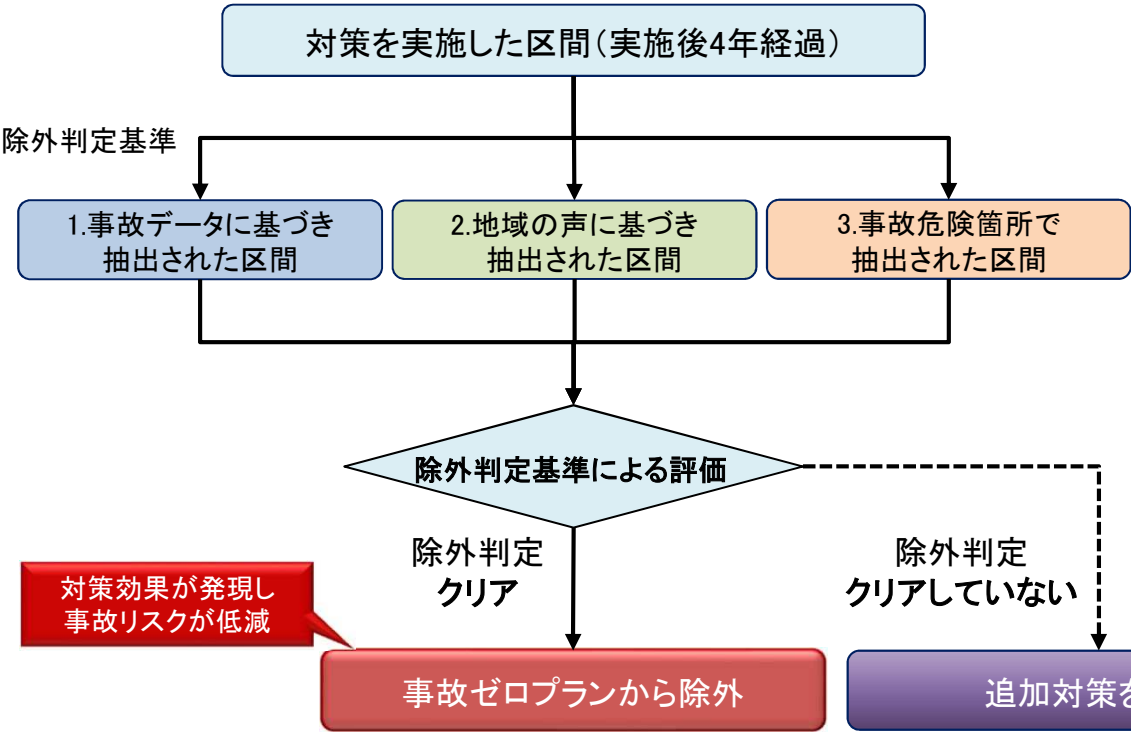


4. 事故ゼロプランの進捗状況

②対策実施区間の評価方法

- 対策を実施した区間で対策効果が発現しているか評価するため、最新の事故データを用いて**最新の事故危険区間の抽出指標**に基づき評価を実施。
- 1～3巡目事故危険区間は、「事故データに基づく抽出」、「地域の声に基づく抽出」、「社会資本重点計画の事故危険箇所での抽出」の3つの抽出区分より選定されており、抽出区分に応じた**除外判定基準を設定**。
- 評価実施後、**除外判定基準をクリアした区間**は**事故ゼロプランから除外**し、**除外判定基準をクリアしていない区間**については**追加対策を検討**。

■事故ゼロプランからの除外方法



■事故ゼロプランから除外判定基準

事故危険区間の抽出区分	事故ゼロプランからの除外判定基準
1.事故データに基づき抽出された区間	● 下記2項目をクリアした場合、除外 ✓ 最新の事故危険区間抽出指標に該当していない場合 ✓ 選定時との死傷事故件数を比較し、件数が増加していない場合
2. 地域の声に基づき抽出された区間	● 選定時との死傷事故件数を比較し、件数が増加していない場合、除外
3. 事故危険箇所での抽出された区間	● 下記2項目をクリアした場合、除外 ✓ 事故危険箇所の抽出指標に該当していない場合 ✓ 選定時との死傷事故件数を比較し、件数が増加していない場合

選定時の事故データ：1巡目区間（平成17年～20年）
2巡目区間（平成23年～26年）
3巡目区間（平成27年～30年）
対策後事故データ：対策実施後の4カ年
※令和5年度評価箇所のみ平成30年～令和3年

4. 事故ゼロプランの進捗状況

審議事項

③評価に用いる最新の抽出指標

○1～3巡目事故危険区間は、「①事故データに基づく抽出」、「②地域の声に基づく抽出」「③社会資本重点計画の事故危険箇所での抽出」の3つの抽出区分より選定。

○「①事故データに基づく抽出」については新たに設定した4巡目の抽出指標にて評価を実施する点を審議。

■ 4 巡目の抽出指標

①事故データに基づく抽出

- ・事故ゼロプラン3巡目の指標をもとに、既往指標の課題点を修正
- ・重大事故リスクなどから新たな指標に追加
- ・最新のR2～R5事故データを使用

※指標該当と判断する閾値は、
各管理者の管轄区間における、上位1%～5%の該当区間数となる値を目途に設定。

【抽出指標】～ 2項目該当～

- 死傷事故率: 100件/億台km以上
- 死傷事故件数: 上位区間(20件以上/4年)
- 死者数: 1人以上/4年
- 追突事故件数: 国: 9件以上/4年、県: 8件以上/4年
- 車線逸脱事故件数: 国: 2件以上/4年、県: 3件以上/4年
- 歩行者事故件数: 国: 1件以上/4年、県: 2件以上/4年
- 自転車事故件数: 国: 5件以上/4年、県: 5件以上/4年
- 高齢者事故件数: 1当 国: 5件以上/4年、県: 5件以上/4年
2当 国: 3件以上/4年、県: 4件以上/4年
- 子供事故件数: 国: 2件以上/4年、県: 3件以上/4年
- 横断歩道横断中事故件数: 国: 3件以上/4年、県: 4件以上/4年
- 右折事故件数: 国: 7件以上/4年、県: 6件以上/4年
- 出会い頭事故件数: 国: 4件以上/4年、県: 7件以上/4年

■ 3 巡目の抽出指標

②地域の声に基づく抽出

- ・群馬県内の職業ドライバーを対象
- ・複数意見のあった危険指摘区間を抽出
- ・道路管理者として、安全対策が必要とされる箇所

【アンケート概要】

- 対象: 群馬県トラック協会・バス協会・タクシー協会
- 内容: 群馬県内の幹線道路の危険箇所を回答

※複数回答: 2件以上

③第5次社会資本整備重点計画の事故危険箇所

- ・国施策『第5次社会資本整備重点計画』の『事故危険箇所』を事故ゼロプランに包括を想定

【選定指標 A基準: 3項目全該当】

- 死傷事故率: 100件/億台km以上
- 重大事故率: 10件/億台km以上
- 死亡事故率: 1件/億台km以上

【選定指標 B基準】

- ETC2.0を活用した急挙動箇所
- 事故多発交差点

4. 事故ゼロプランの進捗状況

④事故ゼロプランの進捗状況と評価(除外判定)結果

直轄管理区間**231区間**のうち、対策完了は**165区間**。評価の結果**113区間**が除外と判定。
群馬県管理区間**237区間**のうち、対策完了は**234区間**。評価の結果**103区間**が除外と判定。

対策区間	区間数		計画(Plan)			実施(Do)			評価(Check)					残合計
			検討中	経過観察	設計済	事業中	対策完了	残	評価待ち※	評価結果			追加対策残	
							～R06			除外	追加対策	追加対策完了		
直轄管理	1巡目	54	0	0	0	2	52	0	0	43	9	0	9	9
	2巡目	93	0	0	0	1	92	0	8	70	14	0	14	14
	3巡目	84	0	0	13	50	21	13	21	0	0	0	0	13
	計	231	0	0	13	53	165	13	29	113	23	0	23	36
群馬県管理	1巡目	29	0	0	0	1	28	0	0	20	8	0	8	8
	2巡目	101	0	0	0	0	101	0	10	83	8	0	8	8
	3巡目	107	1	0	0	1	105	1	105	0	0	0	0	1
	計	237	1	0	0	2	234	1	115	103	16	0	16	17
合 計		468	1	0	13	55	399	14	144	216	39	0	39	53

※対策実施後、4年分の事故データの蓄積が無い区間 25

4. 事故ゼロプランの進捗状況

⑤事故ゼロプランの進捗状況・評価結果(1/2)

直轄管理

青：対策完了
 橙：事業中
 白：計画中

事故 ゼロプラン	No.	路線名	区間名	進捗状況	対策 完了年	評価 対象	評価 年度	評価結果
1巡目	2	国道17号	みなかみ町羽場	事業中				-
1巡目	6	国道17号	渋川市中村(渋川インター南交差点)	対策完了	H26	●	R5	追加対策を検討
1巡目	7	国道17号	渋川市上白井	事業中				-
1巡目	9	国道17号	前橋市鳥羽町(中尾町鳥羽交差点)	対策完了	H26	●	R5	追加対策を検討
1巡目	11	国道17号	前橋市元総社町一丁目(NHK前交差点)	対策完了	H24	●	R5	追加対策を検討
1巡目	17	国道17号	前橋市国領町二丁目(群大病院東交差点)	対策完了	H26	●	R5	追加対策を検討
1巡目	20	国道17号(上武道路)	前橋市二之宮町(宮川橋交差点)	対策完了	H25	●	R5	追加対策を検討
1巡目	51	国道17号	高崎市下之城町(下之城町東交差点)	対策完了	H24	●	R5	追加対策を検討
1巡目	57	国道17号	高崎市内小八木町(小八木町南交差点)	対策完了	H24	●	R5	追加対策を検討
1巡目	76	国道18号	安中市岩井(岩井交差点)	対策完了	H26	●	R5	追加対策を検討
1巡目	77	国道18号	安中市安中一丁目	対策完了	H26	●	R5	追加対策を検討
2巡目	14	国道17号	石原交差点	対策完了	H30	●	R6	追加対策を検討
2巡目	18	国道17号	半田北交差点	対策完了	H30	●	R6	追加対策を検討
2巡目	30	国道17号	千代田町三丁目交差点	対策完了	H28	●	R5	追加対策を検討
2巡目	31	国道17号	千代田町一丁目交差点	対策完了	H28	●	R5	追加対策を検討
2巡目	32	国道17号	本町一丁目交差点	対策完了	H27	●	R5	追加対策を検討
2巡目	34	国道50号	本町二丁目交差点	対策完了	R1	●	R7	追加対策を検討
2巡目	36	国道50号	二丁目五差路交差点	対策完了	R1	●	R7	追加対策を検討
2巡目	39	国道50号	本町三丁目交差点	対策完了	R1	●	R7	追加対策を検討
2巡目	54	国道50号	伊勢崎市市場町一丁目	対策完了	H27	●	R5	追加対策を検討
2巡目	68	国道50号	阿左美交差点	対策完了	R1	●	R7	追加対策を検討
2巡目	108	国道17号	スマートインター入口交差点	対策完了	R1	●	R7	追加対策を検討
2巡目	129	国道17号	紅雲町二丁目交差点	対策完了	R1	●	R7	追加対策を検討
2巡目	130	国道17号	農政事務所前交差点	事業中				-
2巡目	159	国道17号	金属工業団地前交差点	対策完了	R1	●	R7	追加対策を検討
2巡目	184	国道18号	中宿東交差点	対策完了	H30	●	R6	追加対策を検討

事故 ゼロプラン	No.	路線名	区間名	進捗状況	対策 完了年	評価 対象	評価 年度	評価結果
3巡目	1	国道17号	高崎市新後閑町(城南大橋交差点)	事業中				-
3巡目	2	国道17号	高崎市若松町(聖石橋交差点)	事業中				-
3巡目	3	国道17号	前橋市大手町一丁目(県庁南交差点)	事業中				-
3巡目	5	国道17号	前橋市千代田町二丁目(千代田町二丁目交差点)	事業中				-
3巡目	8	国道17号	高崎市宮原町(宮原町交差点)	事業中				-
3巡目	9	国道17号	高崎市下之城町(下之城町交差点)	計画中				-
3巡目	10	国道17号	高崎市問屋町西一丁目(児童公園入口交差点)	事業中				-
3巡目	12	国道17号	高崎市中尾町(中尾町鳥羽交差点)	事業中				-
3巡目	14	国道17号	高崎市新後閑町(琴平神社前交差点)	事業中				-
3巡目	15	国道17号	高崎市若松町	事業中				-
3巡目	16	国道17号	沼田市屋形原町	事業中				-
3巡目	17	国道17号	高崎市高松町	事業中				-
3巡目	18	国道17号	渋川市上白井	事業中				-
3巡目	19	国道17号	渋川市上白井	事業中				-
3巡目	20	国道17号	高崎市内並榎町	事業中				-
3巡目	21	国道17号	高崎市宮元町	事業中				-
3巡目	22	国道18号	安中市安中三丁目(城下交差点)	事業中				-
3巡目	23	国道18号	安中市安中二丁目(妙光院入口)	事業中				-
3巡目	24	国道18号	安中市岩井(岩井交差点)	事業中				-
3巡目	25	国道18号	高崎市内上岡町(上岡町交差点)	事業中				-
3巡目	26	国道18号	安中市高別当	事業中				-
3巡目	27	国道18号	高崎市藤塚町	事業中				-
3巡目	28	国道50号	前橋市朝日町	事業中				-
3巡目	29	国道50号	前橋市東大室町(東大室町交差点)	事業中				-
3巡目	30	国道50号	桐生市広沢町三丁目(岡の上交差点)	事業中				-

注：評価対象が“●”の区間は対策実施後4年分の事故データが蓄積しており、評価を実施した区間

4. 事故ゼロプランの進捗状況

⑥事故ゼロプランの進捗状況・評価結果(2/2)

直轄管理

青：対策完了
橙：事業中
白：計画中

事故	No.	路線名	区間名	進捗状況	対策	評価	評価	評価結果
ゼロプラン					完了年	対象	年度	
3巡目	33	国道17号	前橋市千代田町二丁目	事業中				-
3巡目	34	国道17号	高崎市上並榎町（上並榎町交差点）	事業中				-
3巡目	35	国道17号	渋川市白井（白井交差点）	事業中				-
3巡目	37	国道17号	前橋市上小出町二丁目（敷島公園東交差点）	事業中				-
3巡目	38	国道17号	前橋市荒牧町二丁目（荒牧町北交差点）	事業中				-
3巡目	39	国道17号	前橋市元総社町	事業中				-
3巡目	40	国道17号	高崎市飯塚町	事業中				-
3巡目	43	国道17号	藤岡市立石（立石交差点）	事業中				-
3巡目	44	国道17号	高崎市新町（笛木町交差点）	事業中				-
3巡目	47	国道17号	みなかみ町永井	事業中				-
3巡目	48	国道18号	安中市安中一丁目（安中総合学園高校交差点）	事業中				-
3巡目	49	国道18号	高崎山下豊岡町	事業中				-
3巡目	50	国道18号	安中市安中	事業中				-
3巡目	51	国道18号	安中市安中五丁目（下野尻交差点）	事業中				-
3巡目	52	国道18号	安中市新宿（安中駅入口交差点）	事業中				-
3巡目	53	国道18号	安中市松井田町五料	事業中				-
3巡目	54	国道18号	安中市松井田町北野牧	事業中				-
3巡目	55	国道18号	安中市松井田町北野牧	事業中				-
3巡目	56	国道18号	安中市安中四丁目	事業中				-
3巡目	57	国道50号	伊勢崎市曲沢町（曲沢町交差点）	事業中				-
3巡目	58	国道50号	みどり市笠懸町阿左美	事業中				-
3巡目	60	国道17号	沼田市下川田町（下川田町交差点）	事業中				-
3巡目	63	国道17号	渋川市渋川（下郷交差点）	事業中				-
3巡目	64	国道17号	高崎市宮原町	計画中				-
3巡目	65	国道17号	高崎市新町	計画中				-

事故	No.	路線名	区間名	進捗状況	対策	評価	評価	評価結果
ゼロプラン					完了年	対象	年度	
3巡目	66	国道17号	高崎市問屋町西一丁目（児童公園入口交差点北西）	計画中				-
3巡目	67	国道17号	高崎市新町（自衛隊前交差点東側）	計画中				-
3巡目	68	国道17号	高崎市新町	計画中				-
3巡目	69	国道17号	高崎山下之城町（下之城東交差点）	計画中				-
3巡目	70	国道17号	高崎市浜尻町（浜尻町交差点）	計画中				-
3巡目	71	国道17号	渋川市吹屋（浅田交差点）	計画中				-
3巡目	77	国道17号	高崎市並榎町（並榎町交差点）	計画中				-
3巡目	78	国道17号	みなかみ町政所	計画中				-
3巡目	79	国道18号	安中市郷原（旧中山道入口交差点）	計画中				-
3巡目	80	国道18号	安中市新宿	計画中				-
3巡目	81	国道18号	安中市安中四丁目	事業中				-
3巡目	82	国道18号	安中市築瀬	事業中				-
3巡目	84	国道50号	伊勢崎市西久保町二丁目（西久保東交差点）	事業中				-

注：評価対象が”●”の区間は対策実施後4年分の事故データが蓄積しており、評価を実施した区間

4. 事故ゼロプランの進捗状況

⑦事故ゼロプランの進捗状況・評価結果

群馬県管理

青：対策完了
 橙：事業中
 白：計画中

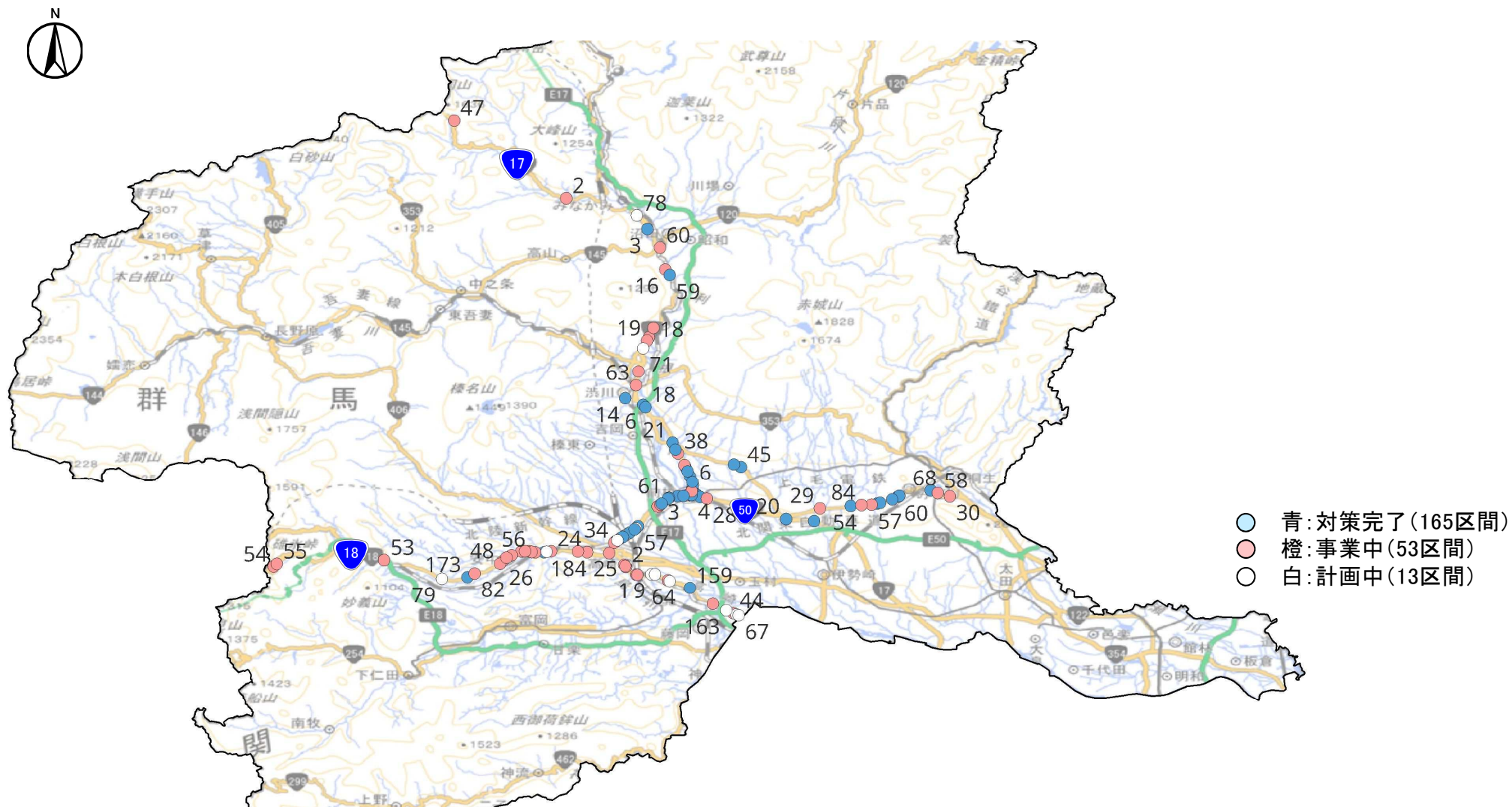
事故 ゼロプラン	No.	路線名	区間名	進捗状況	対策 完了年	評価 対象	評価 年度	評価結果
1巡目	24	主要地方道(県道)前橋館林線	前橋市文京町一丁目	対策完了	H24	●	R5	追加対策を検討
1巡目	25	主要地方道(県道)前橋大間々桐生線	前橋市西片貝町一丁目	対策完了	H24	●	R5	追加対策を検討
1巡目	26	主要地方道(県道)前橋大間々桐生線	前橋市茂木町	対策完了	H24	●	R5	追加対策を検討
1巡目	27	主要地方道(県道)前橋赤城線	前橋市富士見町小暮(小暮交差点)	事業中				-
1巡目	30	県道津久田停車場前橋線	前橋市龍蔵寺町～青柳町	対策完了	H24	●	R5	追加対策を検討
1巡目	40	主要地方道(県道)前橋大間々桐生線	みどり市大間々町大間々	対策完了	H25	●	R5	追加対策を検討
1巡目	69	主要地方道(県道)高崎駒形線	高崎市上大類町(上大類町交差点)	対策完了	H25	●	R5	追加対策を検討
1巡目	70	主要地方道(県道)高崎駒形線	高崎市島野町	対策完了	H25	●	R5	追加対策を検討
1巡目	72	主要地方道(県道)高崎神流秩父線	高崎市吉井町池	対策完了	H25	●	R5	追加対策を検討
2巡目	12	(主)渋川松井田線	伊香保交差点	対策完了	H29	●	R5	追加対策を検討
2巡目	26	(一)津久田停車場前橋線	前橋市北代田町	対策完了	H30	●	R6	追加対策を検討
2巡目	78	国道354号	上小泉交差点	対策完了	R1	●	R7	追加対策を検討
2巡目	119	国道462号	伊勢崎市ひろせ町	対策完了	H30	●	R6	追加対策を検討
2巡目	133	(主)高崎渋川線	高崎市引間町	対策完了	R1	●	R7	追加対策を検討
2巡目	144	(主)高崎駒形線	高崎市上大類町	対策完了	R1	●	R7	追加対策を検討
2巡目	146	(主)高崎駒形線	高崎市末広町(末広町五差路)	対策完了	R1	●	R7	追加対策を検討
2巡目	174	(一)磯部停車場線	安中市磯部一丁目	対策完了	H29	●	R5	追加対策を検討
3巡目	39	国道406号	須賀尾峠付近	計画中				-
3巡目	45	国道145号	東吾妻町原町170-2	事業中				-

注：評価対象が“●”の区間は対策実施後4年分の事故データが蓄積しており、評価を実施した区間

4. 事故ゼロプランの進捗状況

⑧事故ゼロプラン3巡目区間位置図

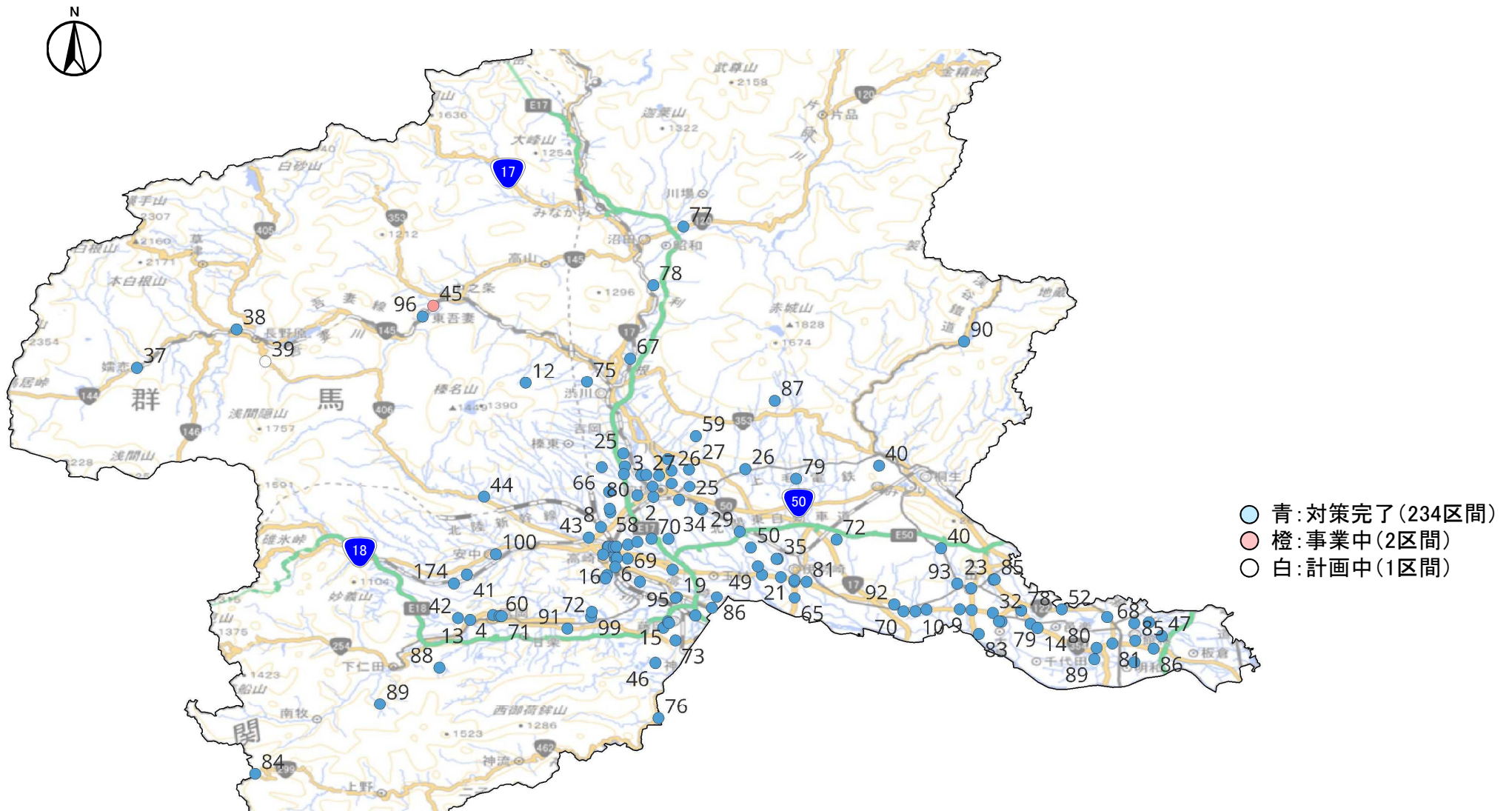
直轄管理



4. 事故ゼロプランの進捗状況

⑨事故ゼロプラン3巡目区間位置図

群馬県管理



5. 事故ゼロプラン(1巡目、2巡目)の対策効果

①1巡目、2巡目の対策効果の状況

- 1・2巡目の対策区間で**対策後4年以上経過している区間**は、**イタルダ事故データ**にて対策効果を確認。
- 3巡目の対策区間については、**対策後4年以上経過していない**ため、今後、対策後の事故データ蓄積後、対策効果を確認。

1巡目区間の対策状況

平成22年～ 事故ゼロプラン(1巡目)
平成22年
主な事故危険区間83区間(直轄:54、県:29)を公表
令和6年まで
80区間(直轄:52、県:28)の対策を完了
事業中:3区間(直轄:2区間、県管理:1区間)
計画中:0区間

対策後4年以上経過した区間

死傷事故件数の変化を確認
令和元年までに対策を完了した80区間
(直轄:52区間、県:28区間)

評価結果
対策完了箇所の内、63区間で除外の評価
(直轄:43区間、県:20区間)

2巡目区間の対策状況

平成28年～ 事故ゼロプラン(2巡目)
平成29年
事故危険区間194区間(直轄:93、県:101)を公表
令和6年まで
193区間(直轄:92、県:101)の対策を完了
事業中:1区間(直轄:1区間)
計画中:0区間

対策後4年以上経過した区間

死傷事故件数の変化を確認
令和元年までに対策を完了した175区間
(直轄:84区間、県:91区間)

評価結果
対策完了箇所の内、153区間で除外の評価
(直轄:70区間、県:83区間)

3巡目区間の対策状況

令和2年～ 事故ゼロプラン(3巡目)
令和3年
事故危険区間191区間(直轄:84、県:107)を公表
令和6年まで
126区間(直轄:21、県:105)の対策を完了
事業中:51区間(直轄:50区間、県管理:1区間)
計画中:14区間(直轄:13区間、県管理:1区間)

対策後4年以上経過した区間

死傷事故件数の変化を確認
令和元年までに対策を完了した区間は無し

今後の評価
事故データが蓄積次第、評価を実施

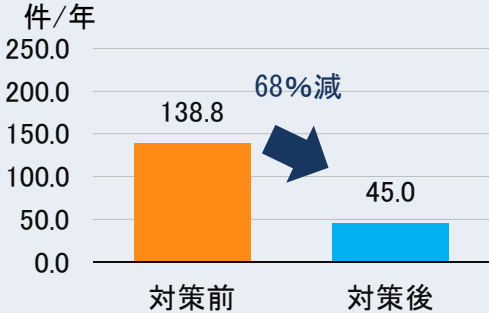
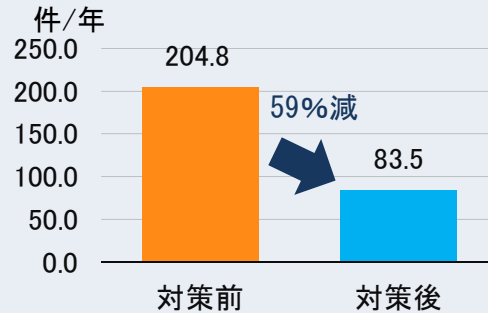
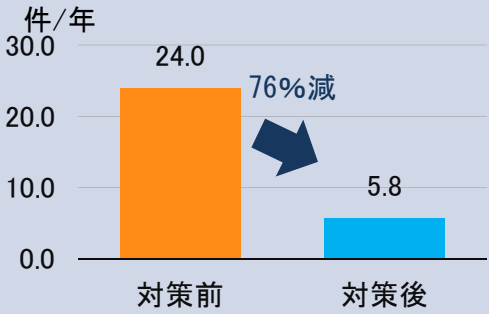
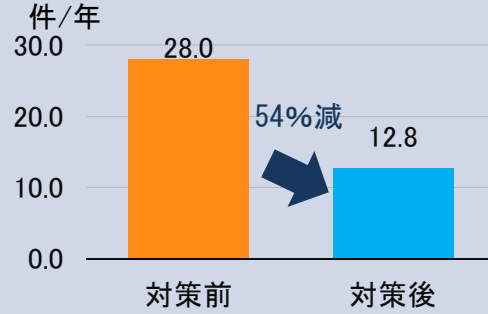
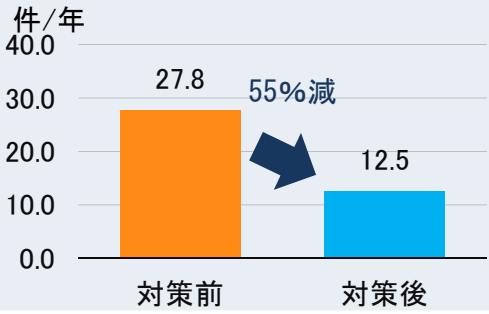
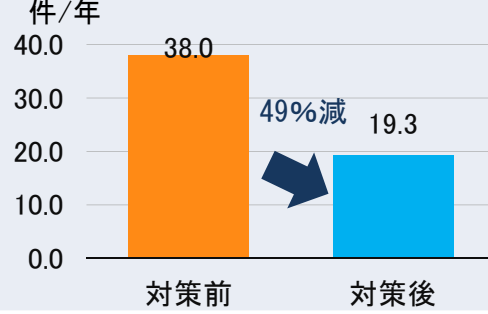
5. 事故ゼロプラン(1巡目、2巡目)の対策効果

②直轄管理区間の対策効果

直轄管理

イタルダ事故データ

- 直轄管理の1巡目の対策実施区間は、群馬県の特徴的な事故が概ね半数以上減少。
- 2巡目については、事故類型により効果にばらつきがあるが、減少傾向。

事故類型	対策内容	事故件数の推移(対策後4年以上経過した区間)	
		1巡目(n=52)	2巡目(n=84)
追突	・法定外看板「追突注意」(LED含む) ・減速路面標示、路面標示「追突注意」 	件/年 	件/年 
出会い頭	・法定外看板「出入り車両注意」 	件/年 	件/年 
右折時	・法定外看板「対向車に注意」 ・右折指導線の設置 ・導流帯の設置 	件/年 	件/年 

資料: 交通事故・道路統合データベース(イタルダ)
【1巡目】対策前: 対策実施箇所の平成17年～平成20年の年間平均事故件数の合計
対策後: 対策実施箇所の令和2年～令和5年の年間平均事故件数の合計

【2巡目】対策前: 対策実施箇所の平成23年～平成26年の年間平均事故件数の合計
対策後: 対策実施箇所の令和2年～令和5年の年間平均事故件数の合計

5. 事故ゼロプラン(1巡目、2巡目)の対策効果

③県管理区間の対策効果

群馬県管理

イタルダ事故データ

○群馬県管理の1巡目、2巡目の対策実施区間は、群馬県の**特徴的な事故**が概ね**半数以上減少**。

事故類型	対策内容	事故件数の推移(対策後4年以上経過した区間)	
		1巡目(n=28)	2巡目(n=72)
追突	・法定外看板「追突注意」 ・減速路面標示、路面標示「追突注意」 ・カラー舗装 	件/年 100.0 75.0 50.0 25.0 0.0 83.5 71%減 24.0 対策前 対策後	件/年 100.0 75.0 50.0 25.0 0.0 49.3 35%減 32.3 対策前 対策後
出会い頭	・交差点内誘導線の引き直し ・中央分離帯端部に点滅灯設置 	件/年 40.0 30.0 20.0 10.0 0.0 36.3 61%減 14.3 対策前 対策後	件/年 40.0 30.0 20.0 10.0 0.0 24.0 46%減 13.0 対策前 対策後
右折時	・交差点内誘導線の引き直し 	件/年 30.0 20.0 10.0 0.0 26.3 66%減 9.0 対策前 対策後	件/年 30.0 20.0 10.0 0.0 10.5 38%減 6.5 対策前 対策後

資料: 交通事故・道路統合データベース(イタルダ)

【1巡目】対策前: 対策実施箇所の平成17年～平成20年の年間平均事故件数の合計
対策後: 対策実施箇所の令和2年～令和5年の年間平均事故件数の合計

【2巡目】対策前: 対策実施箇所の平成23年～平成26年の年間平均事故件数の合計
対策後: 対策実施箇所の令和2年～令和5年の年間平均事故件数の合計

6. 生活道路における交通安全対策

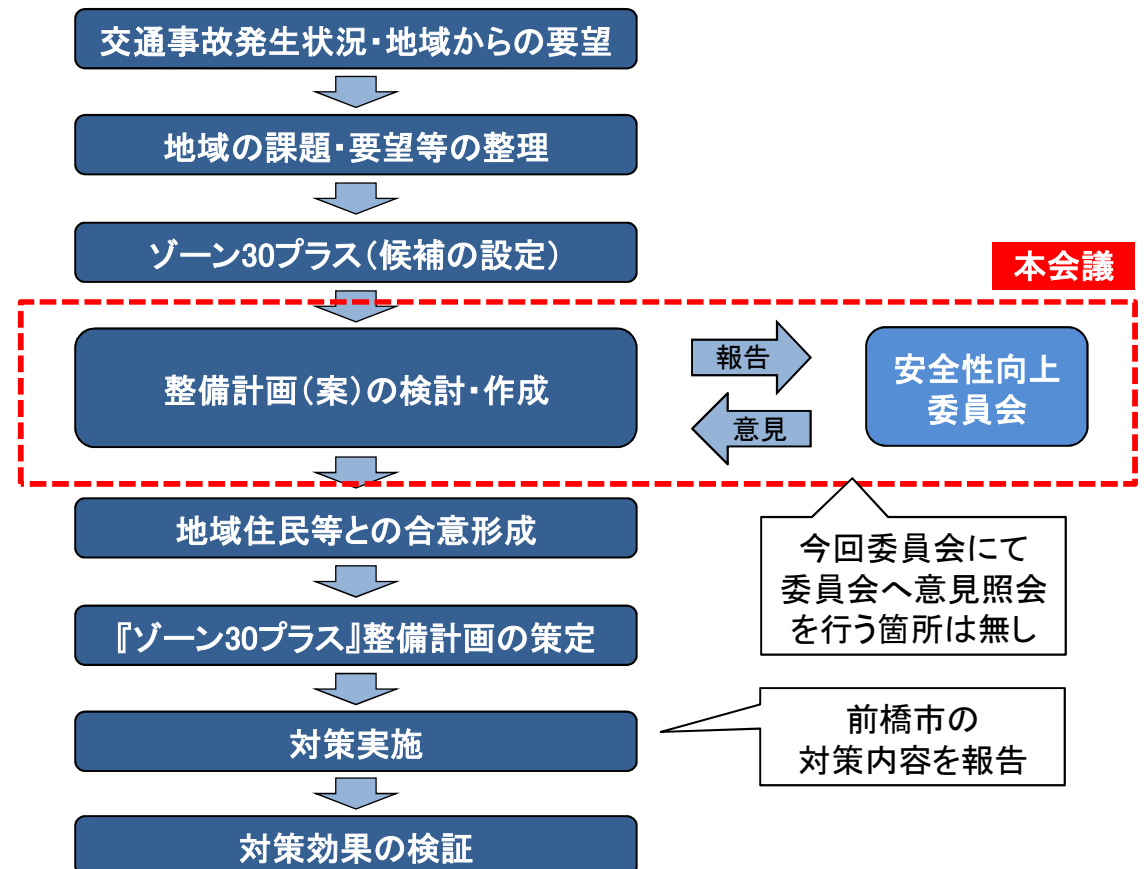
①生活道路の交通安全対策(ゾーン30プラス)

- 令和3年8月、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備の更なる推進を図るため、最高速度30km/hの区域規制「ゾーン30」とハンプ等物理的デバイスとの適切な組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域を『ゾーン30プラス』として設定。
- 警察と道路管理者が緊密に連携し、地域住民等の合意形成を図りながら、生活道路における人優先の安全・安心な通行区間を整備。

ゾーン30プラス



取り組みの流れ



6. 生活道路における交通安全対策

②国土交通省が主催するセミナーについて(「ゾーン30プラス」実務者向けシリーズセミナー)

○ゾーン30プラスに関する施策の概要や手続きの進め方、技術的・財政的な支援や対策メニュー等の基礎的な内容、データを活用した取り組み事例等、様々なテーマで**実務者向けのセミナーを実施**。(参加無料)

○令和7年は、9月25日に「第1回基礎編」を開催予定。(オンライン(ライブ)配信形式)

■令和7年開催のゾーン30プラス実務者向けシリーズセミナーについて

●第1回基礎編(9月25日開催)

- ・生活道路の交通安全対策(ゾーン30プラス等)の概要(国土交通省)
⇒ ビッグデータやオープンデータを活用した分析・課題の抽出から対策、財政的支援、取組事例等について紹介します。
- ・生活道路対策の必要性(警察庁)
⇒ 事故の現状、ゾーン30(プラス)、合意形成、生活道路の法定速度見直し等について紹介します。

●第2回実践編①(10月下旬頃開催予定)

- ・ビッグデータやオープンデータを活用した対策事例(国土交通省)
⇒ データを活用し、分析から対策まで実施した事例を紹介します。
- ・合意形成事例の紹介(国土技術政策総合研究所)
⇒ データを活用した地元との合意形成や地域の自発的な行動による交通安全対策の事例を紹介します。

●第3回実践編②(11月下旬頃開催予定)

- ・地方自治体からの事例紹介
⇒ 生活道路対策を実施した地方自治体の方より、計画から対策検討まで、地元との合意形成のポイント等を紹介しします。

【開催概要】

- 日時: 2025年9月25日(木) 14:00~15:30
- 形式: オンライン(ライブ)配信
- 参加費: 無料
- 申込締切: 2025年9月18日(木)まで

【申し込み方法】

- 下記フォームよりご応募ください

<https://zone30plus-seminar.jp/>



上記QRコードからも
アクセス可能

■生活道路における交通安全対策に関するお問い合わせ 高崎河川国道事務所 道路管理第二課 027-345-6043

6. 生活道路における交通安全対策

○前橋市下川町地区・東小学校地区について、令和6年度に工事着手・対策が完了した。

今後の流れ

実施済み	■第1～6回 調整会議 ・事故発生状況の確認 ・地区の課題、要望の把握 ・安全対策メニューの検討
	↓
R5.9	■地域住民との合意形成
	↓
R6年度	■工事着手、完成
	↓
R8年度	■効果検証



位置図



6. 生活道路における交通安全対策

③群馬県内におけるゾーン30プラス 整備状況【前橋市 下川町地区】

〇ICや商業地が隣接し、市内外問わず流入する車両が多数あり通過速度も速く危険な状態であった。

〇狭さく、車線分離標、路面のカラー化により車両の速度低下を促し、安全確保を図った。

前橋市 下川町地区

■主な対策内容

- ・最高速度30km/h区域規制
- ・交通指導取締り
- ・狭さく
- ・車線分離標
- ・ゾーン30プラス看板及び路面表示
- ・カラー舗装
- ・登下校時の見守り活動

■対策の実施状況

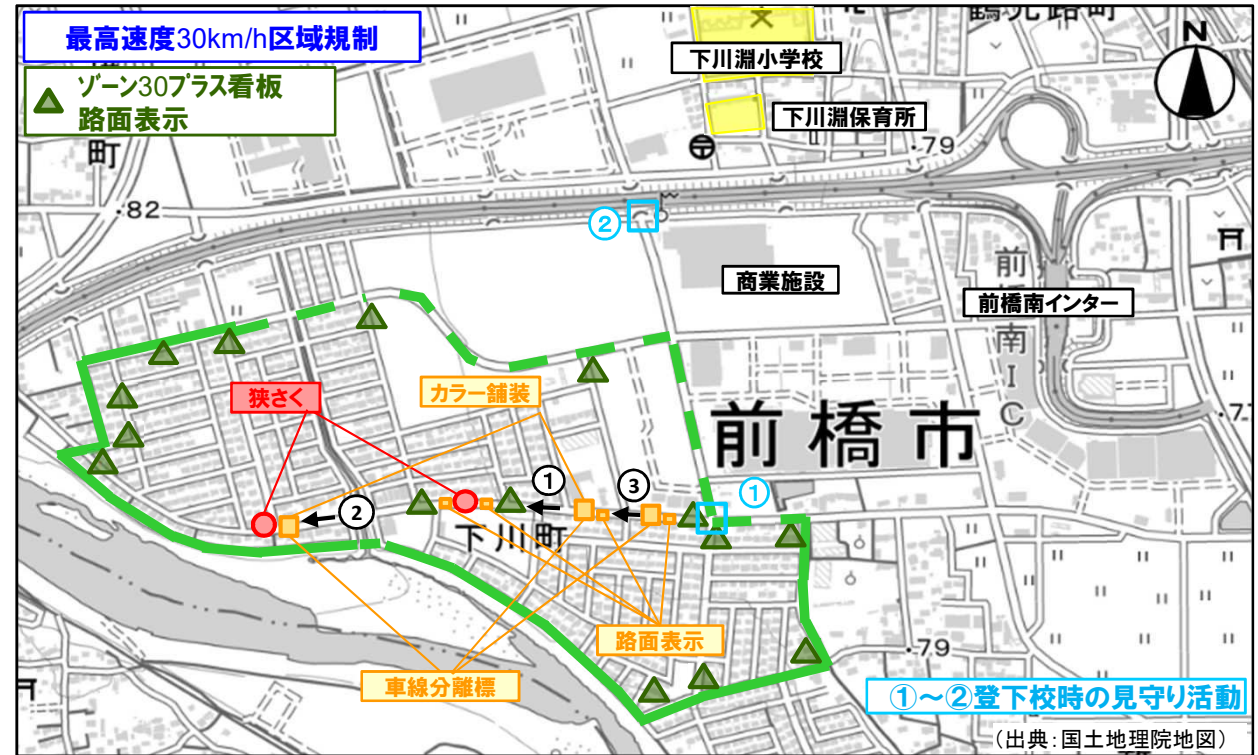
①狭さく



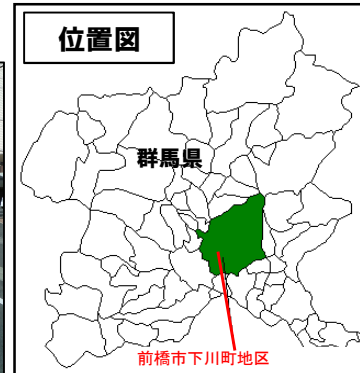
②車線分離標及びカラー舗装



③路面のカラー化



位置図



凡例

ゾーン30プラス 看板・路面表示 ※破線は整備区域に 含まれない道路		ゾーン30プラス 看板・路面表示 △ 対策済 △ 対策予定	
規制等		その他ハード対策	
—	対策済	■	対策済
- - -	対策予定	□	対策予定
物理的デバイス		ソフト対策	
●	対策済	□	実施中
○	対策予定	□	実施予定

6. 生活道路における交通安全対策

③群馬県内におけるゾーン30プラス 整備状況【前橋市 東小学校地区】

- 主要幹線道路として交通量の多い路線が隣接しており、通過車両が多く、速度も速く危険なエリアであった。
- スムーズ横断歩道やハンプの設置、路面のカラー化により車両の速度低下を促し、安全確保を図った。

前橋市 東小学校地区

■主な対策内容

- ・最高速度30km/h区域規制
- ・交通指導取締り
- ・スムーズ横断歩道
- ・ハンプ
- ・ゾーン30プラス看板及び路面表示
- ・カラー舗装
- ・登下校時の見守り活動

■対策の実施状況

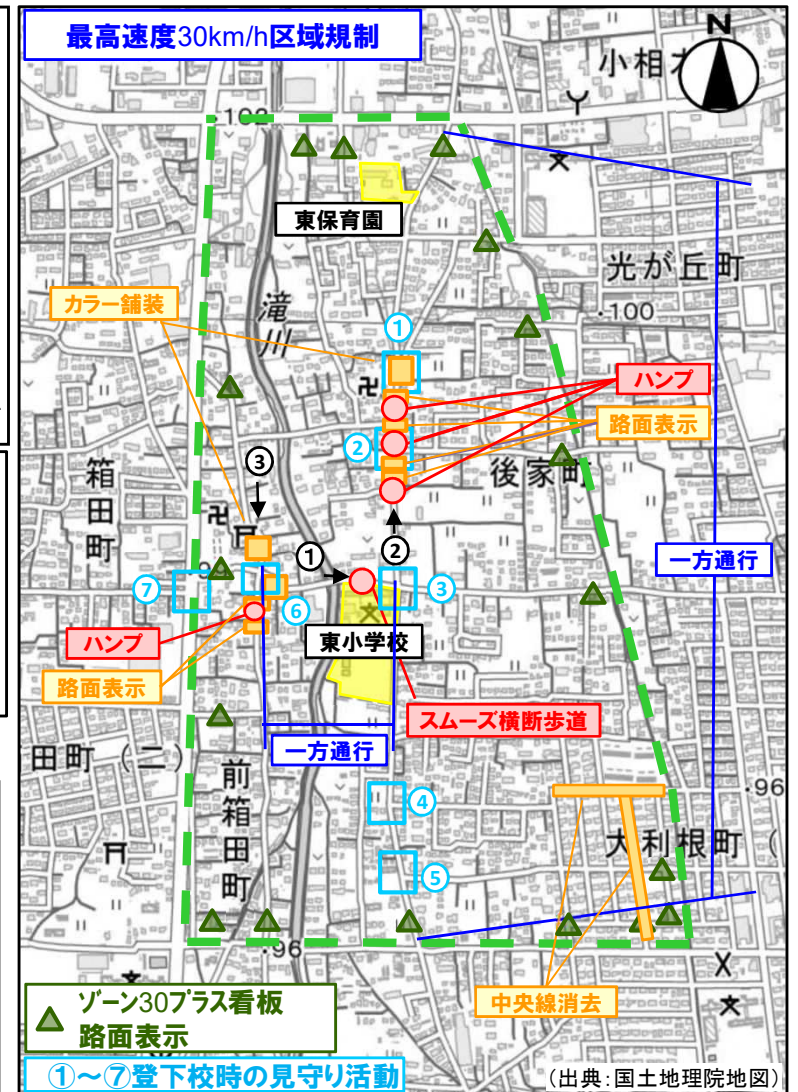
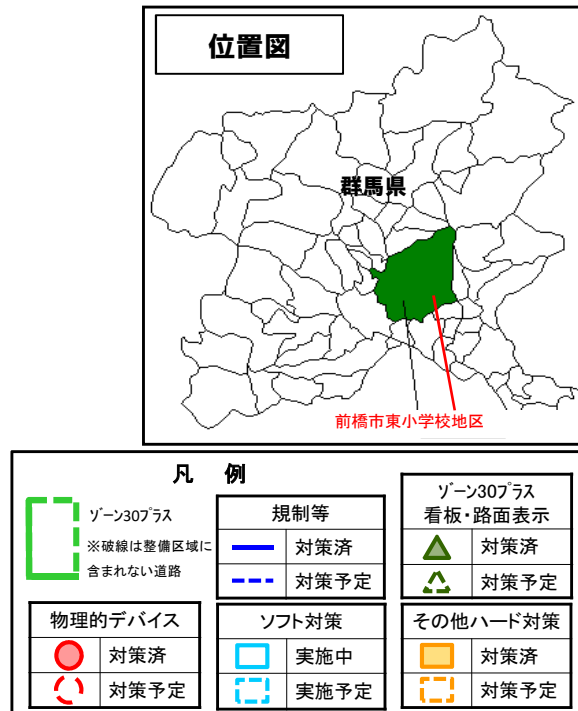
①スムーズ横断歩道



②ハンプ



③路面のカラー化



7. 交通安全対策に関するトピック

① 道路交通法施行令の一部を改正する政令案等について（一部抜粋）

※第27回委員会資料再掲

1) 生活道路の法定速度の見直し

- 中央線、中央分離帯、中央を分離する工作物（道交法施行令・施行規則で中央を分離する工作物について規定）等が設置されていない道路や複数車線が設置されていない道路の法定速度を30km/hとする。
- 上記以外の道路の法定速度は60km/hに維持。
- 従前どおり、速度規制標識が設置されている場合には当該速度が最高速度となる。

道路交通法施行令（昭和35年政令第270号）

道路交通法施行規則（昭和35年総理府令第60号）

・第11条、第12条：生活道路の法定速度の見直し

・第5条の6の3：生活道路の法定速度の見直し

令和8年9月1日から施行

法定速度が60km/hとなる道路

- (1) 高速自動車国道（道路の構造上往復の方向別に分離された本線車道並びにこれに接する加速車線及び減速車線を除く）
- (2) 自動車専用道路
- (3) 道路標識等による中央線又は車両通行帯が設けられている一般道路
- (4) 道路の構造上又は柵その他の内閣府令で定める工作物等により自動車の通行が往復の方向別に分離されている一般道路

法定速度が30km/hとなる道路

道路交通法施行令第11条第1号に掲げる一般道路（上記）以外の一般道路

道路管理者の対応

(1) 区画線の維持管理

道路標識等による中央線又は車両通行帯の設置の有無が、一般道路における法定速度を決定する要素の一つとなる。道路管理者により設置されているものについては、引き続き適切な維持管理を行う。

(2) ゾーン30プラスの取扱い

ゾーン 30 プラスについては、最高速度引下げ対象道路が含まれる区域であっても、地域住民や警察をはじめとする関係者と調整しつつ設定を引き続き推進する。

■ 周辺道路への影響について

※対象路線は道路構造等による

- 当該改正により、面的な30km/h規制がなされていない生活道路等についても法定速度が30km/hとなる。[※]
- 速度規制により、従来生活道路を抜け道利用していた交通が隣接する幹線道路へ転換することも予想されるため、交通流変化による影響の有無を注視していく必要があると考えられる。

7. 交通安全対策に関するトピック

②自転車事故防止への取組み

○群馬県とトヨタ・モビリティ基金が連携協定を締結

○群馬県と一般財団法人トヨタ・モビリティ基金は自転車による交通事故の削減を目的とした連携協定を締結。

○令和9年度末までに、群馬県の高校生の自転車事故を令和5年度比での半減を目指すこととしている。

■協定の概要



自転車×高校生をターゲットとした交通安全啓発活動のモデル地域として、国内トップのモビリティ企業のソリューションを掛け合わせて、

「令和9年度末までに、群馬県の高校生の自転車事故を令和5年度比で半減」を目指す。

【出典】群馬県HP

(協定概要) 群馬県と一般財団法人トヨタ・モビリティ基金との
自転車交通事故削減に向けた啓発活動に関する連携協定の締結について より

8. 次回委員会について

【次回委員会の予定】

- ◆事故ゼロプラン(1巡目)(2巡目)の対策効果の確認
- ◆事故ゼロプラン(3巡目)(4巡目)の対策検討状況の報告
- ◆事故ゼロプランからの除外区間の確認
- ◆自転車ネットワーク計画調整会議の設置について
- ◆交通安全対策に関するトピック